



2026年1月期 決算説明資料

2026年3月

Japan Eyewear Holdings 株式会社（証券コード5889）

- 01 ブランドビジネスにおける当社の独自性
- 02 中期計画進捗
- 03 2026年1月期業績及び2027年1月期業績予想
- 04 資本コストと株価を意識した経営

01

ブランドビジネスにおける当社の独自性

Our Philosophy

私たちは、アイウェアを通して、
世界中の人々に「夢」「感動」「幸福」を提供し続けます。

私たちは、アイウェアを通して、
世界中の人々の文化的生活の向上に寄与することを目指します。

私たちは、アイウェアを通してもたらされる繁栄を、
関係する全ての人々と共有し、ともに成長し、社会に貢献していきます。

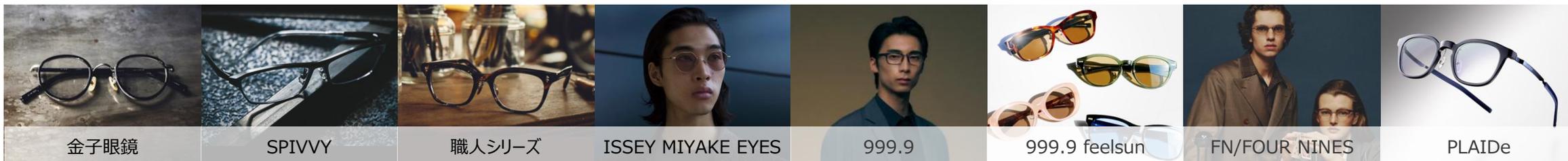


長期ビジョン

クラフツマンシップの伝統と革新を世界へ

ブランドコンセプト

眼鏡の世界三大産地である「鯖江」で培われた職人達の卓越した技とものづくりの魂に加え、デザイン性・機能性・ファッション性を実現する最新技術を融合し、高いクオリティを実現



ブランドポジショニング

- 高水準の情緒的価値・機能的価値を提供することで、他社・他ブランドとの差別化に成功



- ブランド哲学の違いにより、両ブランドがそれぞれ独自のポジションを確立

鯖江 〇〇 手造

金子眼鏡

ESTABLISHED 1958

Japan Eyewear Holdings

999.9

フォーナインズ

眼鏡は文化
作り手の物語とクラフツマンシップを重視
職人・物語・美意識を軸に感性に訴える

眼鏡は道具
機能性・掛け心地の追求が最優先
快適さと構造美を極める理性重視のブランド

デザイン・アプローチ

ヴィンテージやクラシック要素の現代的解釈

プロダクト・ポリシー

職人による手仕事・時間をかけた製造

訴求ポイント

モノと作り手の「背景」に価値がある

ロゴ・アイコン

控えめ。形や質感でブランドを語る

顧客像

世界観と物語を愛する感性派
老若男女偏りなく幅広い層が支持



デザイン・アプローチ

設計が美しさになる「機能美」

プロダクト・ポリシー

自社開発の機構・構造設計に特化した快適設計

訴求ポイント

製品そのものの「性能」に価値がある

ロゴ・アイコン

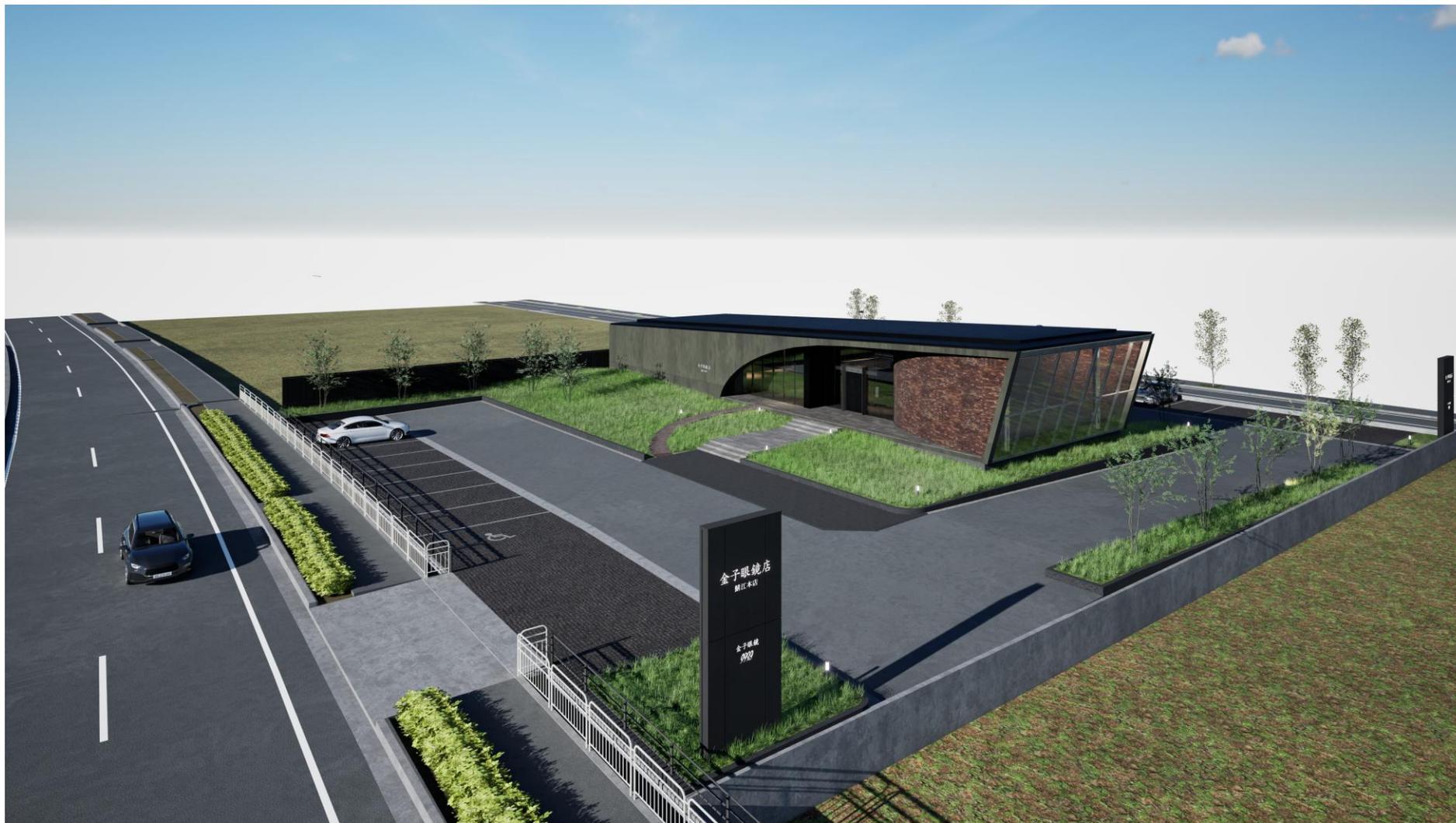
控えめ。フレーム形状などで識別性を担保

顧客像

道具としての完成度を求める理性派
40代～50代の男性がメイン顧客層

フラッグシップストア

- 2026年夏、ブランドの聖地である福井県鯖江市に、当社ブランドのフラッグシップストアをオープン予定



02

中期計画進捗

着実な売上成長・利益成長を実現するとともに、高ROEを維持する

売上収益
(2030/1期)

280億円

(年平均成長率 10%~)
(2025/1期比 +69%)

営業利益
(2030/1期)

100億円

(年平均成長率 13%~)
(2025/1期比 +89%)

営業利益率
(2030/1期)

36.0%以上

(2025/1期 32.0%)

ROE
(2030/1期)

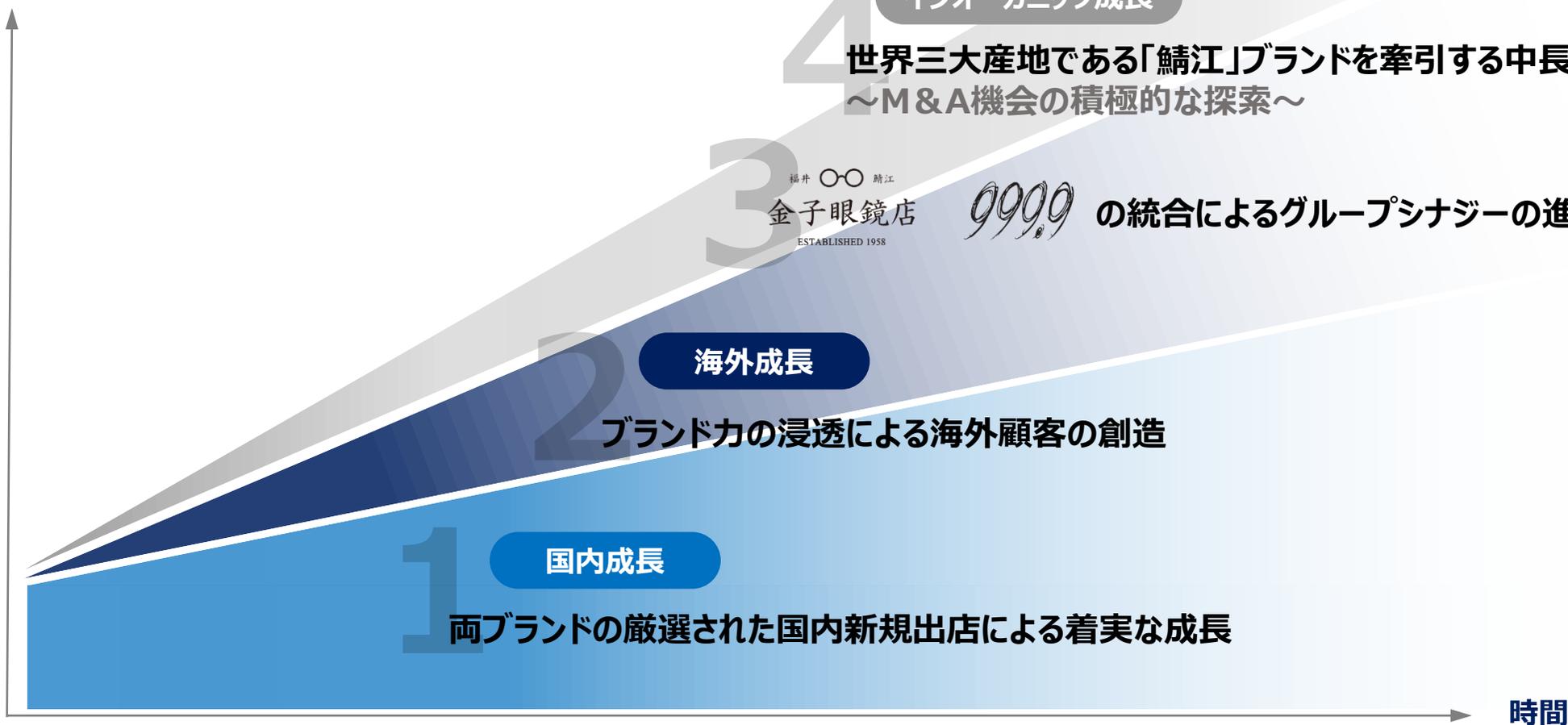
25.0%以上

(2025/1期 24.3%)

上記にはM&Aなどによるインオーガニック成長は含んでおらず、
M&A機会を積極的に探索することで、さらなる売上・利益の成長を目指す

成長のロードマップ

売上・利益



1 両ブランドの厳選された国内新規出店による着実な成長

- 両ブランド合計で6店舗の新規出店と2店舗の退店を実施

2 ブランドカの浸透による海外顧客の創造

- 引き続きインバウンド売上を確実に獲得
- 香港2号店と北京1号店、台湾1号店と金子眼鏡シンガポール店をオープン
- 海外卸売上は前年同期比15%成長

3 福井 〇〇 鯖江 金子眼鏡店 *9999* の統合によるグループシナジーの進化 ESTABLISHED 1958

- 2024年に子会社化したタイホウの製造機能を活用し、フォーナインズ製品の内製強化を開始
- より高いシナジーを追求するために、社内組織を改編

4 世界三大産地である「鯖江」ブランドを牽引する中長期的な成長 ～M&A機会の積極的な探索～

- 福井県鯖江市のメッキ加工業者であるハンズを子会社化

2026年1月期出退店

- 2026年1月期末の総店舗数は113
- 2026年1月期において計10店舗の新規出店（金子眼鏡7店舗・フォーナインズ3店舗）、2店舗の退店を実施

| | | 12か月間実績 | | | 通期計画 | | | |
|----------|--------|------------|-----------|----------|-----------------|-----------|----------|-----------------|
| | | 前期末店舗数 | 出店 | 退店/移転 | 2026/1 期末店舗数 | 出店 | 退店/移転 | 2026/1 期末店舗数 |
| 金子眼鏡 | 国内 | 83 | 3 | 2 | 84 | 3 | 2 | 84 |
| | 中国 | 3 | 1 | | 4 | 1 | | 4 |
| | 香港 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | 2 |
| | 台湾 | 0 | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| | シンガポール | 0 | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| | フランス | 2 | | | 2 | | | 2 |
| フォーナインズ | 国内 | 15 | 3 | | 18 | 3 | | 18 |
| | シンガポール | 1 | | | 1 | | | 1 |
| 計 | | 105 | 10 | 2 | 113 | 10 | 2 | 113 |

出退店の推移

金子眼鏡
出店

フォーナインズ
出店

2024年1月期

2025年1月期

2026年1月期まで

2027年1月期

日本

3月
東京八重洲

9月
京都(移転)

10月
代官山

2月
成田空港

4月
中日ビル(移転)

9月
鳥栖

3月
広島

10月
りんくう

夏頃
鯖江本店

7月
札幌

9月
海老名

11月
麻布台

3月
大宮

9月
枚方(移転)

4月
安城

9月
東京

11月
富士見

3月
天王寺(移転)

9月
所沢

3月
大阪

11月
京都

11月
東京

1月
成田空港

4月
福岡

11月
千葉

フォーナインズ
4店舗

中国

4月
上海

4月
上海

8月
上海

6月
北京

香港

5月
香港

台湾

10月
台北

シンガポール

9月
シンガポール

海外
2店舗

海外店舗の詳細

- ブランディング目的の出店と売上/利益獲得目的の出店をバランスよく行い、アジア地域でのブランド力醸成を進めている

| | 店舗名エリア | 開店時期 | エリアの特徴 |
|----|--|---------|--|
| 中国 | 金子眼鏡店 武康庭376店 (上海)  | 2023年4月 | <ul style="list-style-type: none">・ フランス租界時代の趣を残す武康路に位置・ コロニアル様式の洋館と緑豊かな並木道が続く、静寂と気品に満ちたエリアです |
| | 金子眼鏡店 思南公館店 (上海)  | 2024年4月 | <ul style="list-style-type: none">・ プラタナスの並木道に囲まれた、庭園付きの歴史的洋館群・ 都会の喧騒から離れた隠れ家的な静けさを持ち、優雅な時間が流れています |
| | 金子眼鏡店 洛克・外滩源店 (上海)  | 2024年8月 | <ul style="list-style-type: none">・ 1920～30年代のアールデコ建築が並ぶ外滩地区の象徴・ 重厚な歴史と現代のラグジュアリーが融合する、上海屈指のランドマークエリアです |
| | 金子眼鏡店 北京三里屯太古里店 (北京)  | 2025年6月 | <ul style="list-style-type: none">・ 北京のトレンドを牽引する国際的なコミュニティ・ 最先端のファッションとアートが交差する、洗練された発信エリアです |

海外店舗の詳細

- ブランディング目的の出店と売上/利益獲得目的の出店をバランスよく行い、アジア地域でのブランド力醸成を進めている

| | 店舗名エリア | 開店時期 | エリアの特徴 |
|--------|-------------------------|--|---|
| 香港 | 金子眼鏡店 Pedder Arcade |  2024年11月 | <ul style="list-style-type: none">・ セントラル（中環）に位置する、1924年建設のボザール様式建築・ 香港政府の一級歴史建築物に指定された、戦前の面影を残す希少な文化的ランドマークです |
| | 金子眼鏡店 K11 Musea |  2025年5月 | <ul style="list-style-type: none">・ 尖沙咀のウォーターフロントに誕生した、アートとカルチャーが響き合う革新的な空間・ 世界中のクリエイティビティが集結する、香港の新たな象徴です |
| シンガポール | 金子眼鏡店 シンガポール高島屋S.C.店 |  2025年9月 | <ul style="list-style-type: none">・ 活気あふれる繁華街オーチャードの中心地・ 国際的な活気に満ち、東南アジアにおける流行の発信地として知られています |
| 台湾 | 金子眼鏡店 0 km 山物所 |  2025年10月 | <ul style="list-style-type: none">・ 台北・大安区に佇む、築百年の日本家屋をリノベーションした空間・ 台湾の山林文化を現代に再構築し、静寂と創造が交差する新たな文化拠点です |

有限会社ハンズ（現・株式会社ハンズ）の子会社化について

- ハンズ社は、福井県鯖江市に本社を置き、主として眼鏡フレームの表面処理事業を展開しております。当社グループが推進する眼鏡フレームの一貫生産体制において、表面処理は内製化できていない工程であり、また、同社の持つスキルと経験は、眼鏡業界において更なる飛躍を目指す当社グループにとって、製造力の強化となることが期待されます
今回の子会社化により当社グループが提供するサービスの拡大及び質の向上を図り、更なる企業価値の向上に努めてまいります
今後におきましても、非連続成長のための有力な手段として、M&A機会を探索してまいります

(1) 名称 有限会社ハンズ（2025年7月付で株式会社ハンズに変更）

(2) 所在地 福井県鯖江市

(3) 代表者 取締役 橋本 幸信

(4) 事業内容 眼鏡枠表面処理

(5) 資本金 3,000千円

(6) 設立年月 2001年2月

(7) 当社との関係 当社子会社である金子眼鏡株式会社と営業取引がございます。

◆ 2025年10月29日、東京証券取引所プライム市場へ移行

◆ プライム市場への移行と同時に実施した株式売出しの結果、株主構成は以下の概要通りとなった

| | (売出し前) 保有株数 | (売出し前) 保有比率 | (売出し後) 保有株数 | (売出し後) 保有比率 |
|----------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 金子インベスト株式会社 | 9,090,640 | 37.7% | 9,090,640 | 37.7% |
| 日本企業成長投資1号投資事業有限責任組合 | 3,455,840 | 14.3% | 1,131,340 | 4.7% |
| CAMELLIA FUND I CAYMAN, LP | 1,867,860 | 7.7% | 611,560 | 2.5% |
| CERASUS FUND I CAYMAN, LP | 1,450,600 | 6.0% | 474,900 | 2.0% |
| WISTERIA FUND I CAYMAN, LP | 958,140 | 4.0% | 313,740 | 1.3% |
| その他 | 7,303,580 | 30.3% | 12,504,480 | 51.8% |
| 合計（2025年7月末日時点） | 24,126,660 | 100.0% | 24,126,660 | 100.0% |

03

2026年1月期業績及び2027年1月期業績予想

- 2026年1月期連結業績

2026年1月期累計実績

| | | | |
|--------|-----------|------------|---|
| 売上収益 | 18,640百万円 | (+11.8%) | ◆ 売上収益・営業利益は過去最高額を達成 |
| 売上総利益率 | 78.7% | (▲0.2pts.) | ◆ 店舗売上が13.0%増加し、売上収益成長に貢献 |
| 営業利益 | 5,957百万円 | (+11.8%) | ◆ アジアを中心とした海外において、当社ブランドのファンが増加していることもあり、海外直営店・海外卸・国内店舗インバウンド売上は順調に推移。また、国内店舗日本人向け売上も堅調 |
| 営業利益率 | 32.0% | (▲0.0pts.) | ◆ 営業利益率は引き続き高水準を維持 |
| 当期利益 | 3,783百万円 | (▲5.3%) | ◆ 前年度、繰延税金資産追加計上により当期利益が約5億円上振れしたこともあり、当期利益は減少 |

金子眼鏡セグメント

| | | | |
|---------|-----------|----------|---------------------------------------|
| 売上高 | 12,469百万円 | (+15.5%) | ◆ 店舗売上が12.9%増加し、売上高成長に貢献 |
| セグメント利益 | 4,686百万円 | (+15.0%) | ◆ 国内店舗の既存店売上高前年比は累計107.3%、第4四半期106.5% |
| | | | ◆ 国内3店舗・海外4店舗の新規出店と国内2店舗の退店を実施 |

フォーナインズセグメント

| | | | |
|---------|----------|---------|---------------------------------------|
| 売上高 | 6,171百万円 | (+5.1%) | ◆ 店舗売上が13.6%増加し、売上高成長に貢献 |
| セグメント利益 | 1,855百万円 | (+4.6%) | ◆ 国内店舗の既存店売上高前年比は累計107.9%、第4四半期107.2% |
| | | | ◆ 国内3店舗の新規出店を実施 |
| | | | ◆ 国内卸売上は減収。海外卸売上は好調に推移 |

() 内は前年比

連結PL（前年同期比）

- 売上収益は前期比11.8%増の186億円、営業利益は前期比11.8%増の約60億円
- 売上総利益率は78.7%、営業利益率は32.0%と高水準を維持
- 前年度、繰延税金資産追加計上により当期利益が約5億円上振れしたこともあり、当期利益は5.3%減少

百万円

| | 2025/1期 | 2026/1期 | 増減 | 前年同期比 |
|------------------|---------|---------|---------|--------|
| 売上収益 | 16,666 | 18,640 | 1,974 | 111.8% |
| 売上原価 | 3,520 | 3,968 | 447 | 112.7% |
| 売上総利益 | 13,145 | 14,672 | 1,526 | 111.6% |
| 売上総利益率 | 78.9% | 78.7% | ▲ 0.2Pt | - |
| 販売費及び一般管理費 | 7,825 | 8,725 | 900 | 111.5% |
| その他の収益/その他の費用（▲） | 7 | 10 | 2 | 131.2% |
| 営業利益 | 5,328 | 5,957 | 628 | 111.8% |
| 営業利益率 | 32.0% | 32.0% | ▲ 0.0Pt | - |
| EBITDA | 7,003 | 7,869 | 865 | 112.4% |
| EBITDA率 | 42.0% | 42.2% | 0.2Pt | - |
| 調整後EBITDA | 7,042 | 7,962 | 920 | 113.1% |
| 金融収益/金融費用（▲） | ▲ 416 | ▲ 333 | 82 | 80.1% |
| 税引前利益 | 4,912 | 5,623 | 711 | 114.5% |
| 法人所得税費用 | 917 | 1,840 | 922 | 200.5% |
| 当期利益 | 3,994 | 3,783 | ▲ 211 | 94.7% |
| 調整後当期利益 | 3,500 | 3,848 | 347 | 109.9% |

注:

1. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却
2. 調整後EBITDA=EBITDA（営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費）+上場関連費用（注3）+買収関連費用（注4）
3. 法律事務所への支払報酬や外部コンサルタント費用等の上場に関連する一時的な費用であります。
4. 2025年1月期にタイホウ社、2026年1月期にハンズ社を買収した際の費用であります。

連結PL（通期予想比）

- 第2四半期及び第4四半期におけるインバウンド売上の伸び悩みが主因で、売上収益は予想を2.6億円未達となった
- 売上未達により、営業利益は予想比▲3.9%の約60億円、当期利益は同▲5.4%の約38億円となった

百万円

| | 通期修正予想 | 2026/1期実績 | 進捗率 |
|------------------|--------|-----------|--------|
| 売上収益 | 18,900 | 18,640 | 98.6% |
| 売上原価 | 3,850 | 3,968 | 103.1% |
| 売上総利益 | 15,050 | 14,672 | 97.5% |
| 売上総利益率 | 79.6% | 78.7% | - |
| 販売費及び一般管理費 | 8,860 | 8,725 | 98.5% |
| その他の収益/その他の費用（▲） | 10 | 10 | 103.1% |
| 営業利益 | 6,200 | 5,957 | 96.1% |
| 営業利益率 | 32.8% | 32.0% | - |
| EBITDA | 8,000 | 7,869 | 98.4% |
| EBITDA率 | 42.3% | 42.2% | - |
| 調整後EBITDA | 8,089 | 7,962 | 98.4% |
| 金融収益/金融費用（▲） | ▲ 300 | ▲ 333 | 111.1% |
| 税引前利益 | 5,900 | 5,623 | 95.3% |
| 法人所得税費用 | 1,900 | 1,840 | 96.9% |
| 当期利益 | 4,000 | 3,783 | 94.6% |

注:

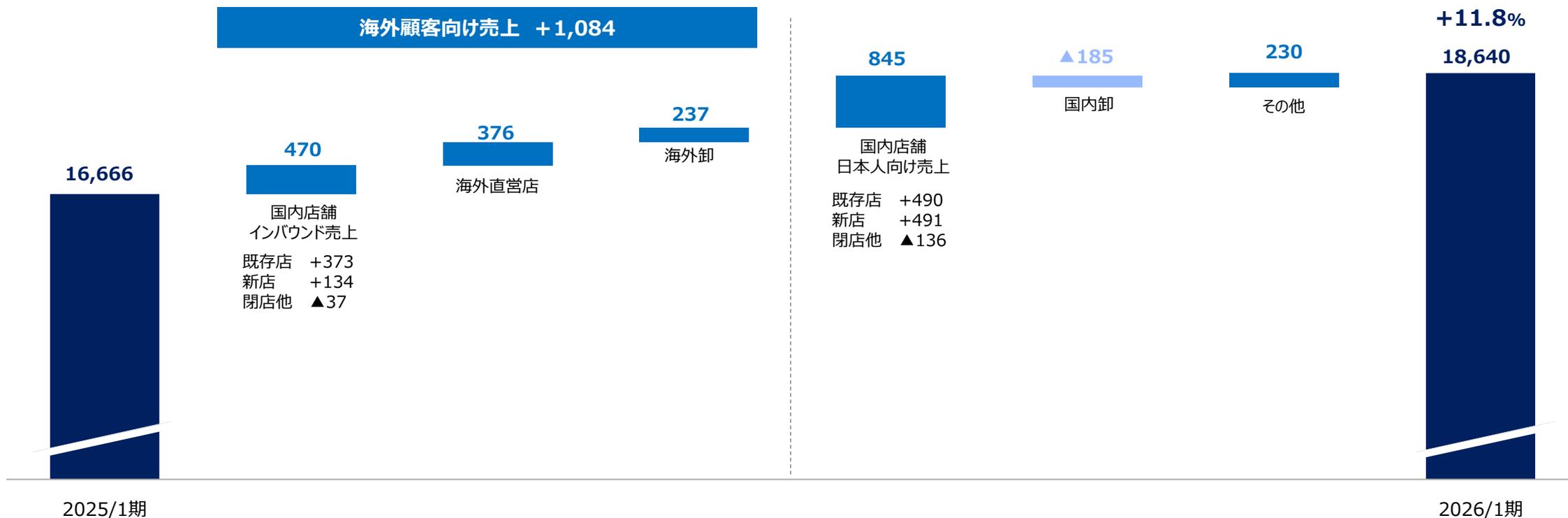
1. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却
2. 調整後EBITDA=EBITDA（営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費）+上場関連費用（注3）+買収関連費用（注4）
3. 法律事務所への支払報酬や外部コンサルタント費用等の上場に関連する一時的な費用であります。
4. 2025年1月期にタイホウ社、2026年1月期にハンス社を買収した際の費用であります。

売上収益増減

- 連結売上収益は前年同期比+11.8%の186億円を達成
- 引き続き堅調なインバウンド売上により海外顧客向け売上は前年比10.8億円増。新規出店を含む国内店舗における日本人向け売上は8.4億円増

第4四半期累計

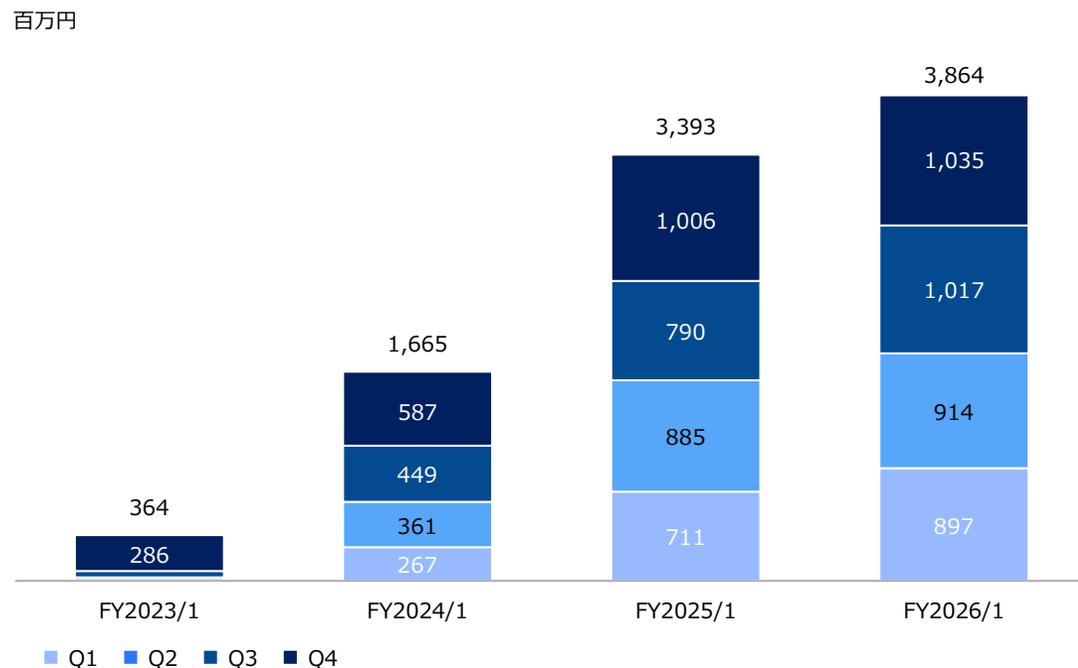
百万円



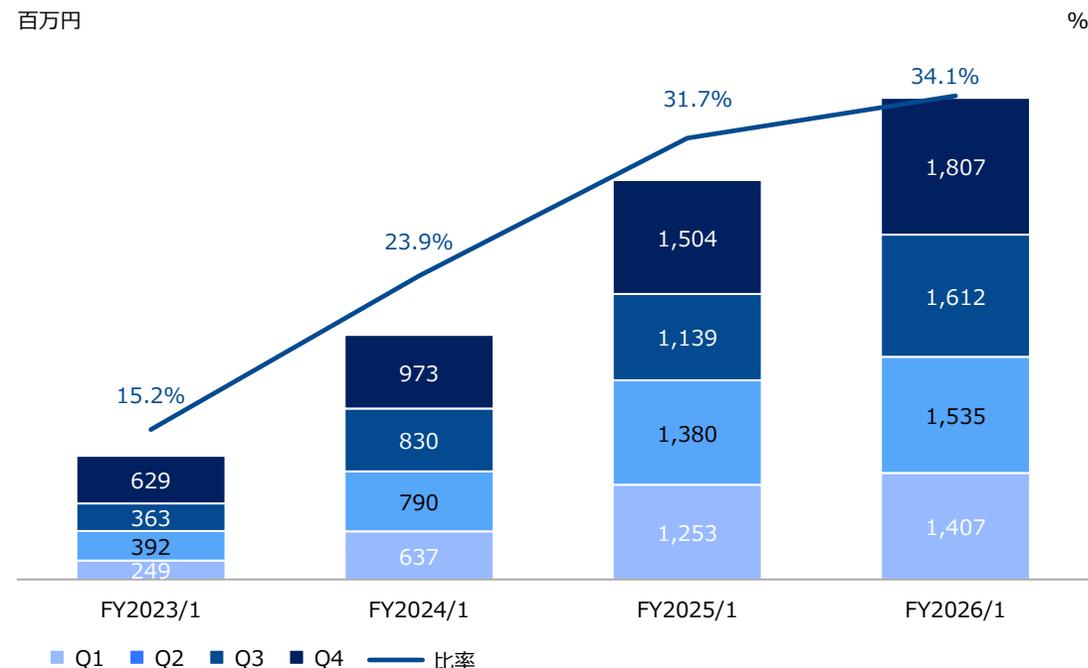
連結PL（海外向け売上）

- 第4四半期の国内店舗におけるインバウンド顧客向け売上は、訪日者数伸び悩みの影響もあり前年同期比2.8%増の約10億円となったが、第3四半期実績に引続き過去最高額を更新
- 同じく年間の海外顧客向け売上は前年同期比20.6%増の約63億円となり、連結売上に占める比率は34.1%を達成

四半期別インバウンド売上 (1)



海外顧客向け売上金額・比率 (3)



第4四半期インバウンド売上1,035百万円
2025年11月～2026年1月訪日者数10,733千人 (2)

前年同期比 +2.8%
前年同期比 +2.6%

注:

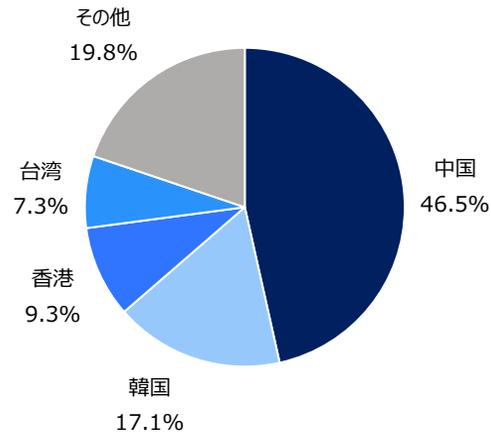
1. 国内直営店における訪日外国人顧客による売上収益（卸販売先におけるインバウンド売上は含まない）
2. 2026年2月18日付日本政府観光局（JNTO）リリースより。2025年12月及び2026年1月は推計値
3. 海外直営店舗での売上収益、海外における卸売による売上収益、インバウンドの売上収益（直営店における訪日外国人顧客による売上収益を指しており、国内卸売における訪日外国人観光客による売上収益は含まない）を加算したデータ。これを連結売上で除したものを比率としている

インバウンド売上

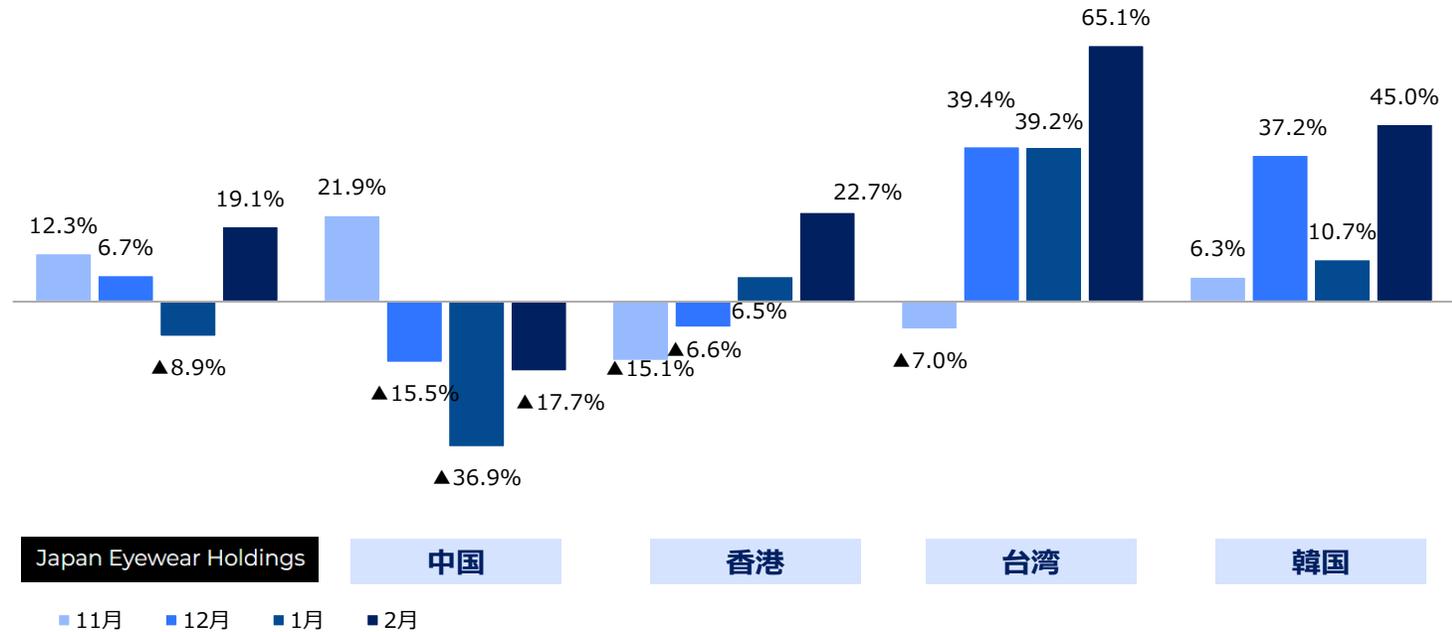
- 国内店舗におけるインバウンド売上のうち約80%を中国・韓国・香港・台湾からの顧客が占める
- 2025年12月以降、中国からの訪日者数減少の影響を受けたが、その他地域からのお客様向け売上の伸びにより相殺
- 2026年1月・2月は、前年との休暇時期の違いもあり、全体ではそれぞれ8.9%減、19.1%増となった

Japan Eyewear Holdings

国別インバウンド売上
(2026年1月期実績) (1)(2)



国別インバウンド売上前年同月比
(2025年11月 - 2026年2月速報ベース) (1)(3)



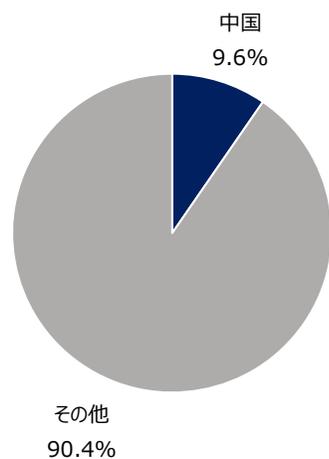
注:
1. 金子眼鏡セグメント及びフォーナインズセグメントにおける合計値
2. 2025年2月 - 2026年1月の合計値
3. 2025年11月 - 2026年2月速報の各月における実績値

インバウンド売上

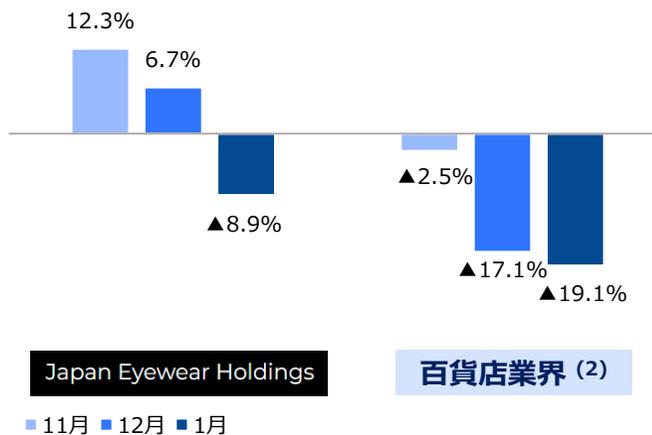
- 連結売上収益に対する、インバウンド売上のうち中国からの顧客向け売上の割合は10%弱
- 当社のインバウンド売上は、百貨店業界の免税売上ほどのマイナス影響を受けていない
- インバウンド売上のうち中国からの顧客向け売上は、中国からの訪日者数の減少幅と比較してマイナス幅は大きくない

Japan Eyewear Holdings

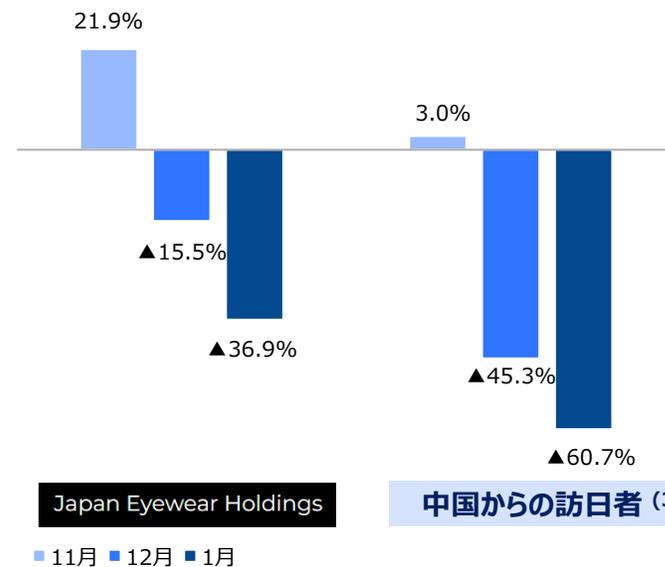
連結売上に占める中国顧客向け売上比率
(2026年1月期実績) (1)



百貨店における免税売上と当社インバウンド売上の前年同月比の比較
(2025年11月 - 2026年1月速報ベース) (2)



中国からの訪日者数と当社インバウンド売上のうち中国顧客向け売上の前年同月比の比較
(2025年11月 - 2026年1月速報ベース) (3)



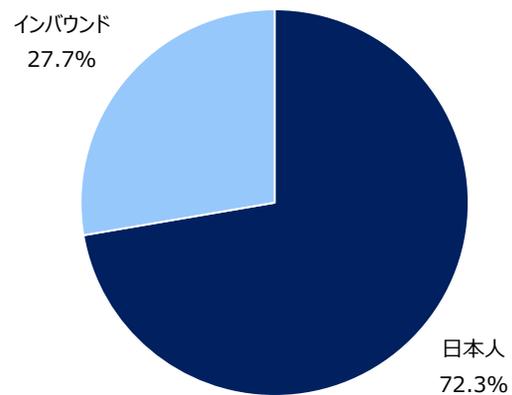
注:

1. 国内店舗売上における中国からの訪日者向け売上の合計を連結売上収益で除した数値
2. 百貨店は日本百貨店協会開示資料を参照。当社はインバウンド売上高合計を参照
3. 中国からの訪日者数は日本政府観光局の公表データを使用

日本人向け売上

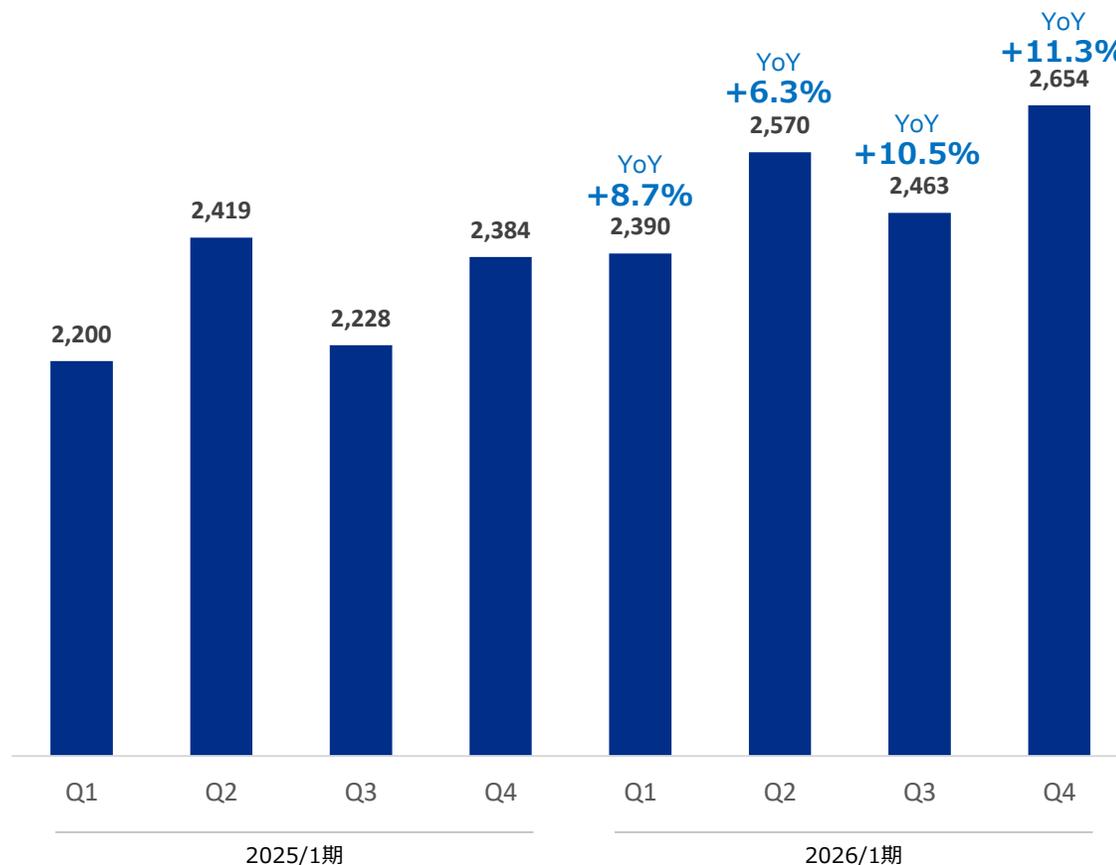
- 国内店舗売上に占める日本人向け比率は72%
- 国内における厳選した立地への新規出店、一式単価の上昇などにより、国内店舗における日本人向け売上は堅調に推移している

国内店舗売上に占める日本人向け売上比率
(2026年1月期実績)



国内店舗における日本人向け売上推移

百万円



連結販管費

- 販管費は9億円増加。主な増加要因は店舗数増加、店舗売上増加に伴う費用増

百万円

| | 2025/1期 | 2026/1期 | 増減/pt差 | 前年同期比 | 備考 |
|----------------------|---------|---------|---------|--------|-----------------------|
| 販売費および一般管理費合計 | 7,825 | 8,725 | 900 | 111.5% | |
| 売上比 | 47.0% | 46.8% | ▲ 0.1Pt | | |
| 人件費 | 2,965 | 3,309 | 344 | 111.6% | 主として店舗数増による人件費増 |
| 売上比 | 17.8% | 17.8% | ▲ 0.0Pt | | |
| 減価償却費 ⁽¹⁾ | 1,622 | 1,827 | 205 | 112.6% | 出店に伴う使用権資産償却増 |
| 売上比 | 9.7% | 9.8% | 0.1Pt | | 新工場設立による有形固定資産等償却増 ほか |
| 賃借料 | 931 | 1,077 | 146 | 115.8% | 店舗売上増加に伴う歩合家賃増 |
| 売上比 | 5.6% | 5.8% | 0.2Pt | | |
| 支払手数料 | 471 | 551 | 80 | 117.1% | ハンズ社買収に伴う手数料増 |
| 売上比 | 2.8% | 3.0% | 0.1Pt | | |
| 販売促進費 | 459 | 551 | 91 | 119.8% | |
| 売上比 | 2.8% | 3.0% | 0.2Pt | | |
| 販売代行手数料 | 290 | 385 | 95 | 132.8% | 店舗運営委託先向け手数料 |
| 売上比 | 1.7% | 2.1% | 0.3Pt | | 店舗売上増加に伴い増加 |
| 広告宣伝費 | 65 | 51 | ▲ 13 | 78.8% | |
| 売上比 | 0.4% | 0.3% | ▲ 0.1Pt | | |
| その他 | 1,019 | 970 | ▲ 48 | 95.2% | |
| 売上比 | 6.1% | 5.2% | ▲ 0.9Pt | | |

注:

1. 減価償却費には店舗賃貸借にかかる使用権資産の償却が含まれています。(2025/1期 1,359百万円、2026/1期 1,472百万円)

連結貸借対照表

- 流動資産約1億円減少のうち、現預金残高が約9億円減少。ハンズ社買収等により棚卸資産が5億円増加
- 当期利益計上によるプラス、配当金支払によるマイナスにより資本合計は約18億円増加

百万円

| | 2025/1月末 | 2026/1月末 | 増減 | 対前期末 |
|---------|----------|----------|----------|--------|
| 総資産 | 38,833 | 39,911 | 1,077 | 102.8% |
| 構成比 | 100.0% | 100.0% | | |
| 流動資産 | 7,436 | 7,340 | ▲ 96 | 98.7% |
| 構成比 | 19.1% | 18.4% | | |
| 非流動資産 | 31,396 | 32,570 | 1,174 | 103.7% |
| 構成比 | 80.8% | 81.6% | | |
| 流動負債 | 5,220 | 16,570 | 11,349 | 317.4% |
| 構成比 | 13.4% | 41.5% | | |
| 非流動負債 | 17,191 | 5,152 | ▲ 12,038 | 30.0% |
| 構成比 | 44.3% | 12.9% | | |
| 資本合計 | 16,421 | 18,187 | 1,766 | 110.8% |
| 構成比 | 42.3% | 45.6% | | |
| 銀行借入金残高 | 12,900 | 11,950 | ▲ 950 | 92.6% |
| 棚卸資産 | 1,871 | 2,416 | 544 | 129.1% |

リファイナンス

- 2026年2月、既存借入金の借換え（リファイナンス）を実施
- 従来の借入金と比較して、より有利な条件となる

| | 従来の借入 | リファイナンス後 |
|---------------|--|--|
| 契約の相手先 | 株式会社三菱UFJ銀行、株式会社日本政策投資銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社福井銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社常陽銀行、株式会社南都銀行 | 株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社日本政策投資銀行、株式会社福井銀行 |
| 借入金残高/借入金額 | タームローンA 950百万円 タームローンB 11,000百万円 | タームローンA 4,750百万円 タームローンB 7,200百万円 |
| コミットメントライン借入枠 | 500百万円 | 1,000百万円 |
| 返済期限 | 2026年9月末 | 2031年2月末 |
| 金利 | 日本円TIBOR（東京銀行間取引金利）+スプレッド | 同左 |
| 主な借入人の義務 | ① 財務制限条項を遵守すること ① 各決算期末の連結貸借対照表上の資本合計の金額を正の値を維持すること ② 各決算期における連結ベースの営業損益または当期利益のいずれかについて、2期連続で損失を計上しないこと。 ② 借入人の計算書類等の定期的な報告をすること | 同左 |

連結キャッシュ・フロー計算書

- 法人所得税の支払、ハンズ社買収、株主様への配当金支払等のため、前年同期末と比較して現預金が約9億円減少

百万円

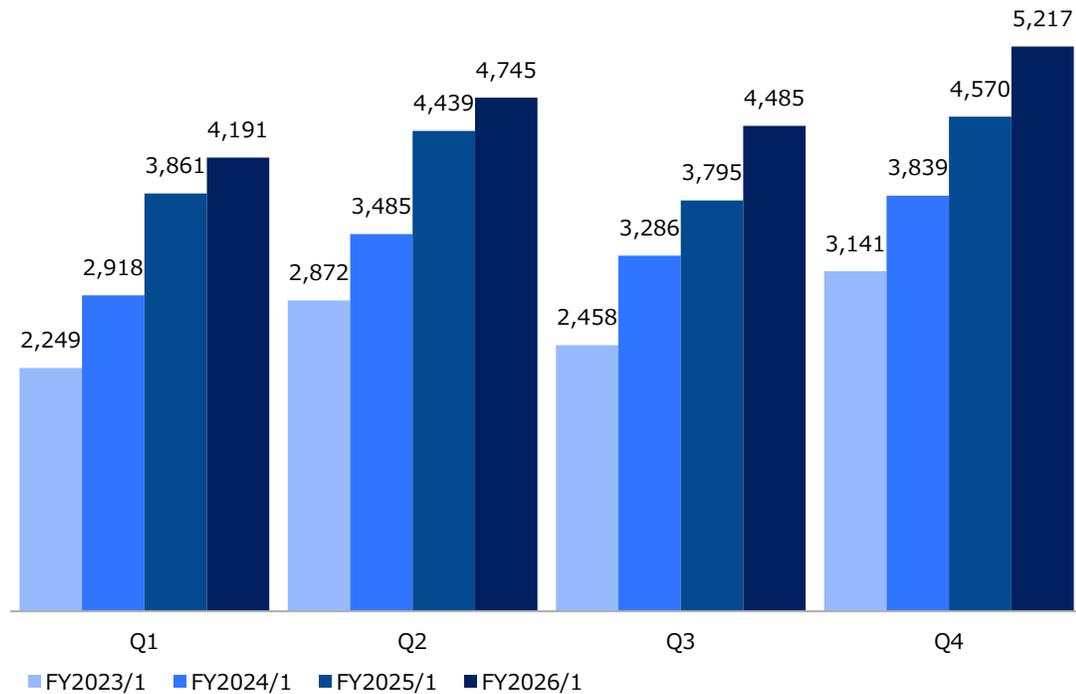
| | 2025/1期 | 2026/1期 | 当期実績の主な内訳 | |
|-----------------|---------|---------|--------------------------|--------|
| 営業キャッシュ・フロー（小計） | 6,727 | 7,646 | | |
| 営業キャッシュ・フロー | 5,258 | 5,363 | 税引前利益 | +5,623 |
| | | | 減価償却費 | +1,911 |
| | | | 棚卸資産の増減額（▲は増加） | ▲404 |
| | | | 法人所得税の支払額 | ▲1,996 |
| 投資キャッシュ・フロー | ▲2,406 | ▲1,422 | 有形固定資産の取得による支出 | ▲720 |
| | | | 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | ▲654 |
| 財務キャッシュ・フロー | ▲3,379 | ▲4,856 | 株主への配当金支払 | ▲2,074 |
| | | | リース負債の返済による支出 | ▲1,843 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 3,931 | 3,054 | | |

四半期別売上収益・営業利益推移

- 第4四半期3か月間の売上収益、営業利益はともに過去最高額を更新

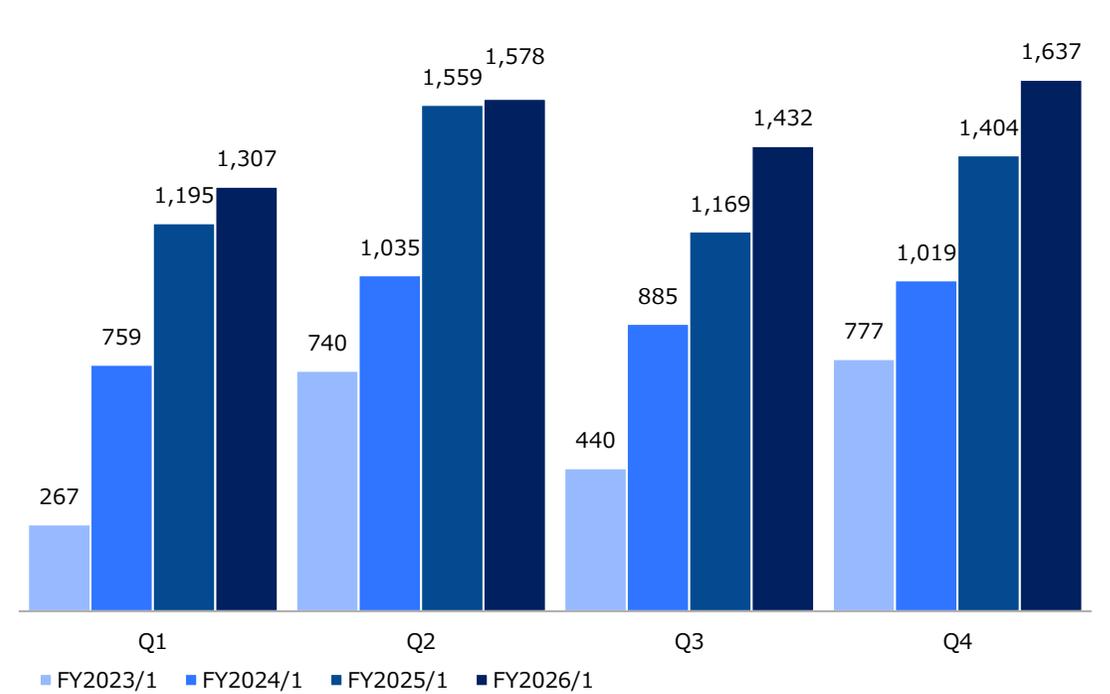
売上収益

百万円



営業利益

百万円



03

2026年1月期業績及び2027年1月期業績予想

- 事業セグメント別業績

セグメントPL

- 金子眼鏡セグメントは+15.5%増収・+15.0%増益
- 一方のフォーナインズセグメントは国内卸売上のマイナスもあり、+5.1%増収・+4.6%増益にとどまった

百万円

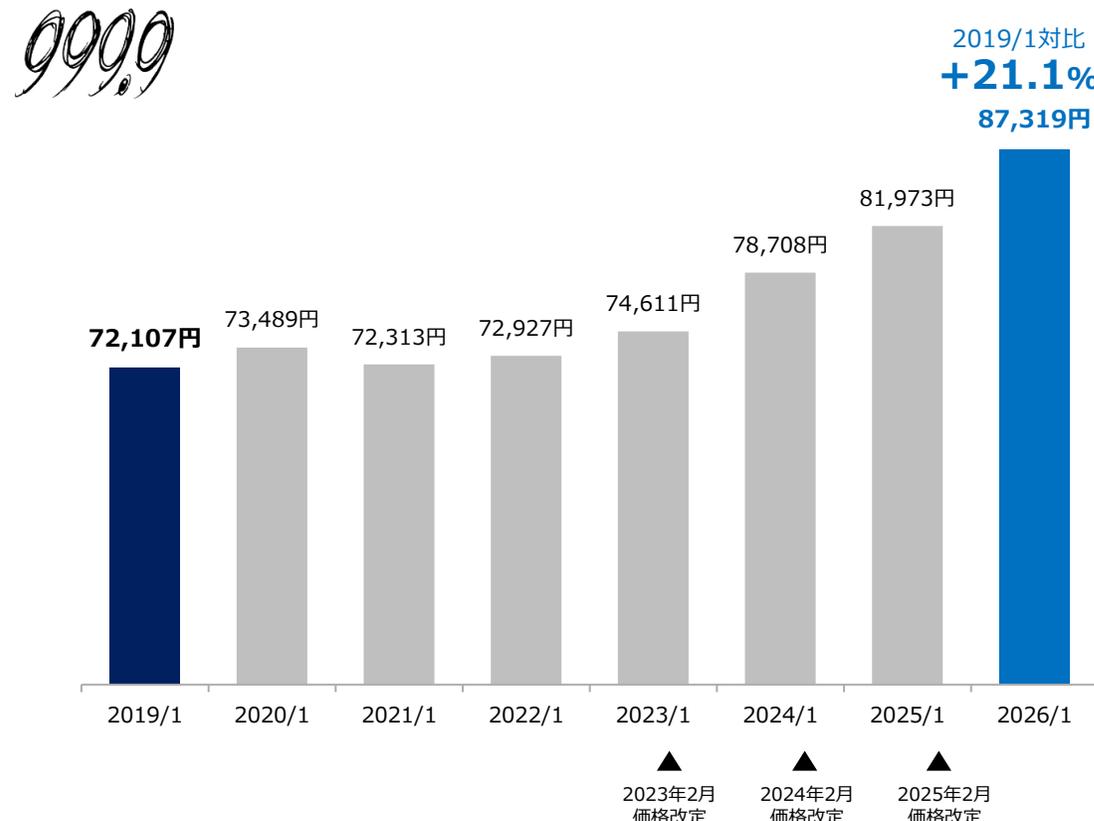
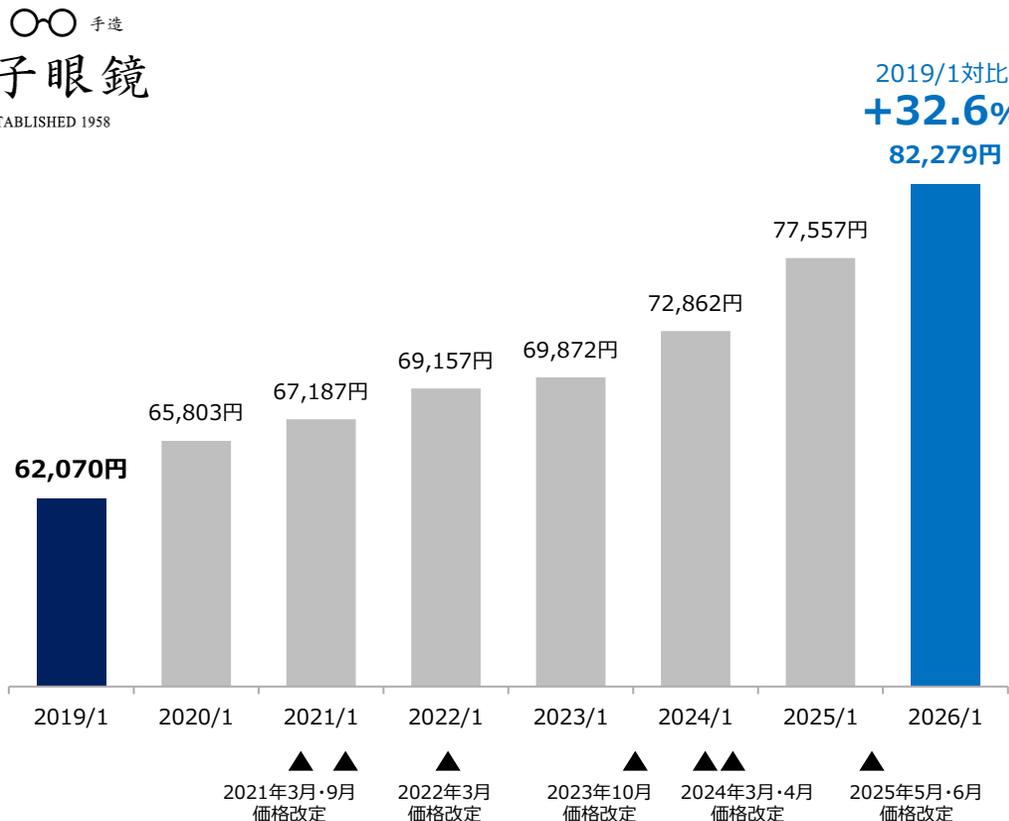
| | | | 2025/1期 | 2026/1期 | 増減 | 前年同期比 |
|---|---------|---------|---------|---------|--------|--------|
|  <p>金子眼鏡 ESTABLISHED 1958</p> | 売上高 | 店舗売上高 | 9,902 | 11,176 | 1,274 | 112.9% |
| | | 国内卸売上高 | 291 | 273 | ▲ 17 | 94.1% |
| | | 海外卸売上高 | 587 | 739 | 152 | 125.9% |
| | | その他売上高 | 12 | 279 | 267 | — |
| | | 計 | 10,793 | 12,469 | 1,676 | 115.5% |
| | | セグメント利益 | 4,074 | 4,686 | 611 | 115.0% |
|  | 売上高 | 店舗売上高 | 3,083 | 3,502 | 418 | 113.6% |
| | | 国内卸売上高 | 1,776 | 1,607 | ▲ 168 | 90.5% |
| | | 海外卸売上高 | 936 | 1,021 | 85 | 109.1% |
| | | その他売上高 | 76 | 39 | ▲ 37 | 51.3% |
| | | 計 | 5,872 | 6,171 | 298 | 105.1% |
| | セグメント利益 | 1,773 | 1,855 | 82 | 104.6% | |
| 共通・調整 | セグメント利益 | ▲ 519 | ▲ 584 | ▲ 64 | 112.5% | |
|  <p>JEH JAPAN EYEWEAR HOLDINGS</p> | 売上高 | 店舗売上高 | 12,985 | 14,678 | 1,692 | 113.0% |
| | | 国内卸売上高 | 2,067 | 1,881 | ▲ 185 | 91.0% |
| | | 海外卸売上高 | 1,523 | 1,761 | 237 | 115.6% |
| | | その他売上高 | 89 | 318 | 229 | 358.1% |
| | | 計 | 16,666 | 18,640 | 1,974 | 111.8% |
| | セグメント利益 | 5,328 | 5,957 | 629 | 111.8% | |

ブランド力を背景とした継続的な既存店成長

- 国内アイウェア市場においてプレゼンスの高い2つのブランドを有することで多様なカテゴリの商品を提供でき、グループとしてのブランド力は更に向上
- 結果として一式単価の継続的な向上を通じて既存店成長を実現する

一式単価の継続的な向上 (1)

鯖江 〇〇 手造
金子眼鏡
ESTABLISHED 1958



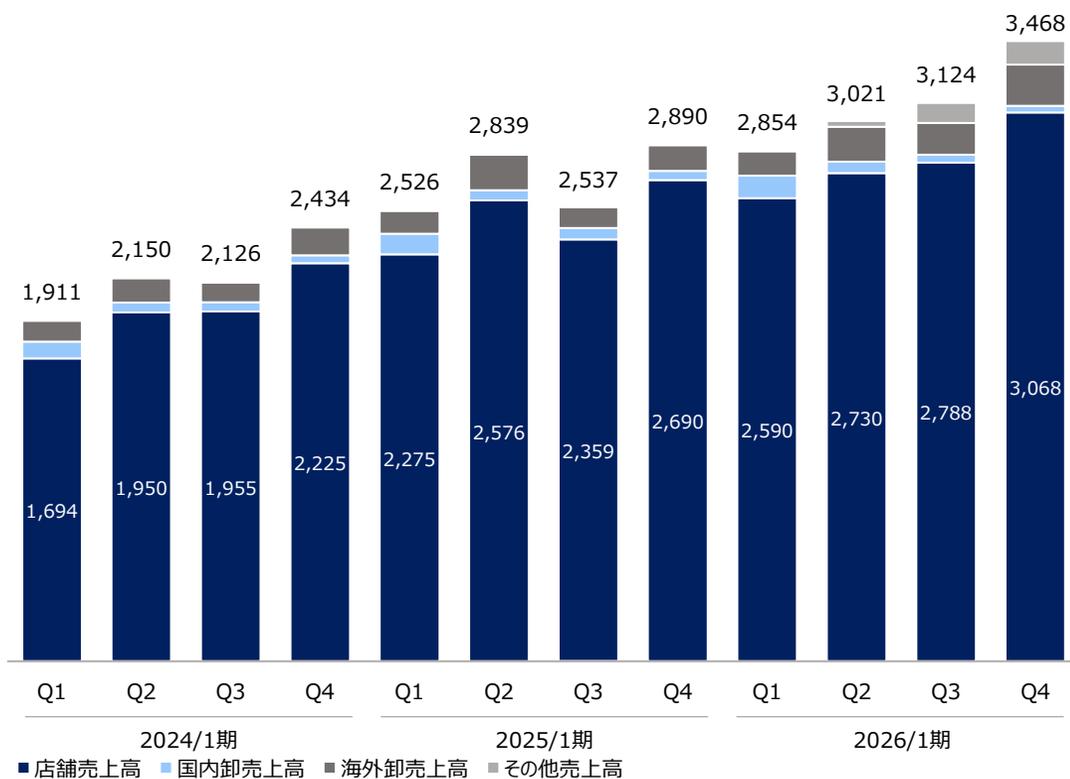
* 2026年1月期第3四半期累計実績、正しくは81,654円

注:
1. 一式単価はフレーム及びレンズの購入単価合計。各期2/1~1/31の集計結果

- 店舗売上が着実な成長を続けており、第4四半期のセグメント売上は前年同期比20.0%増の約35億円、セグメント利益は16.1%増の約13億円となり、いずれも過去最高額を更新
- 2026年1月期において7店舗の新規出店及び2店舗の退店を実施

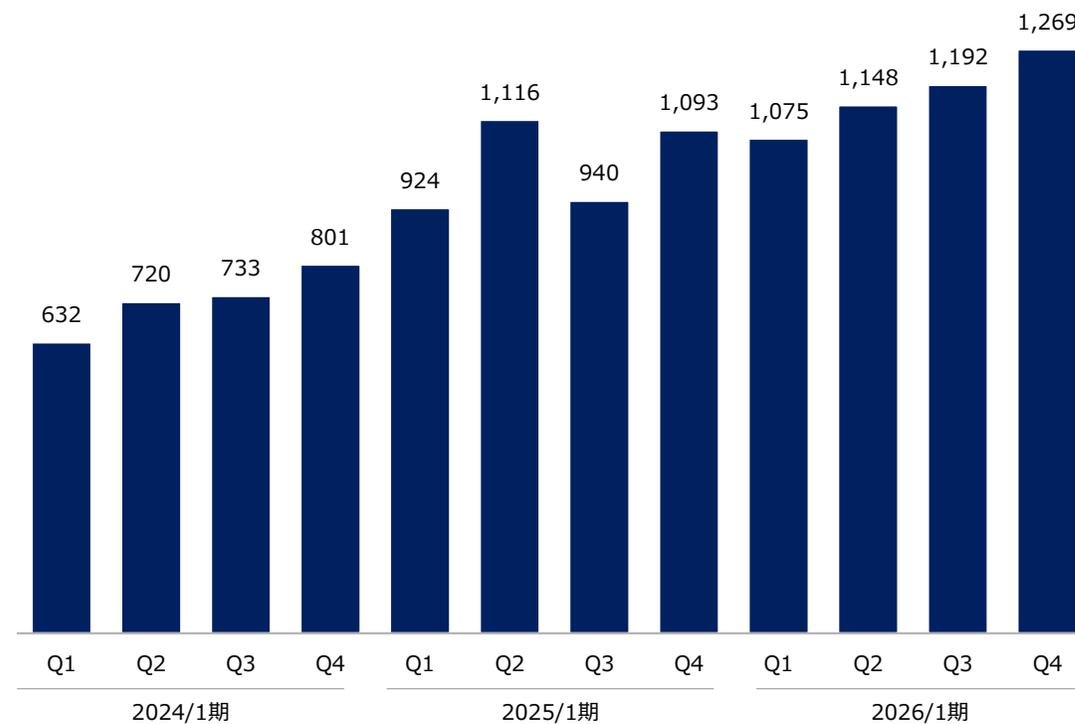
販売経路別セグメント売上

百万円



セグメント利益

百万円

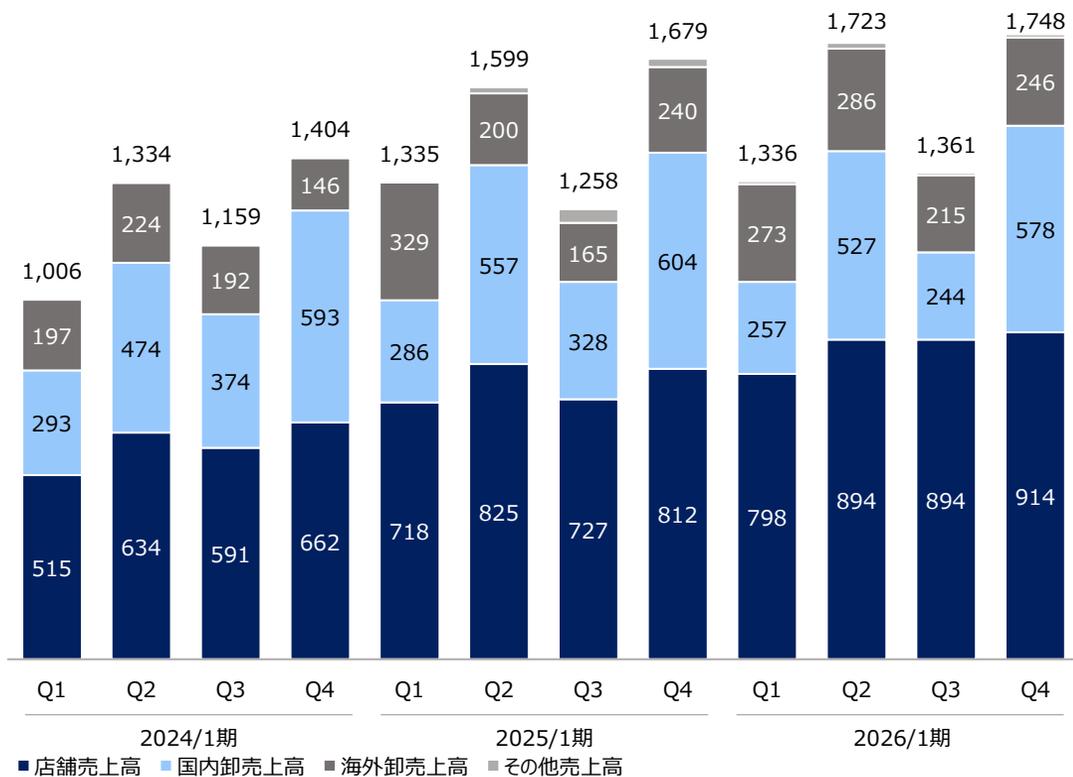


フォーナインズ

- 卸売上の変動により第4四半期のセグメント売上は前年同期4.1%増の17億円、セグメント利益は前年同期比1.7%増の5億円
- 2025年2月、フレーム販売価格の見直しを実施
- 2026年1月期において3店舗の新規出店を実施

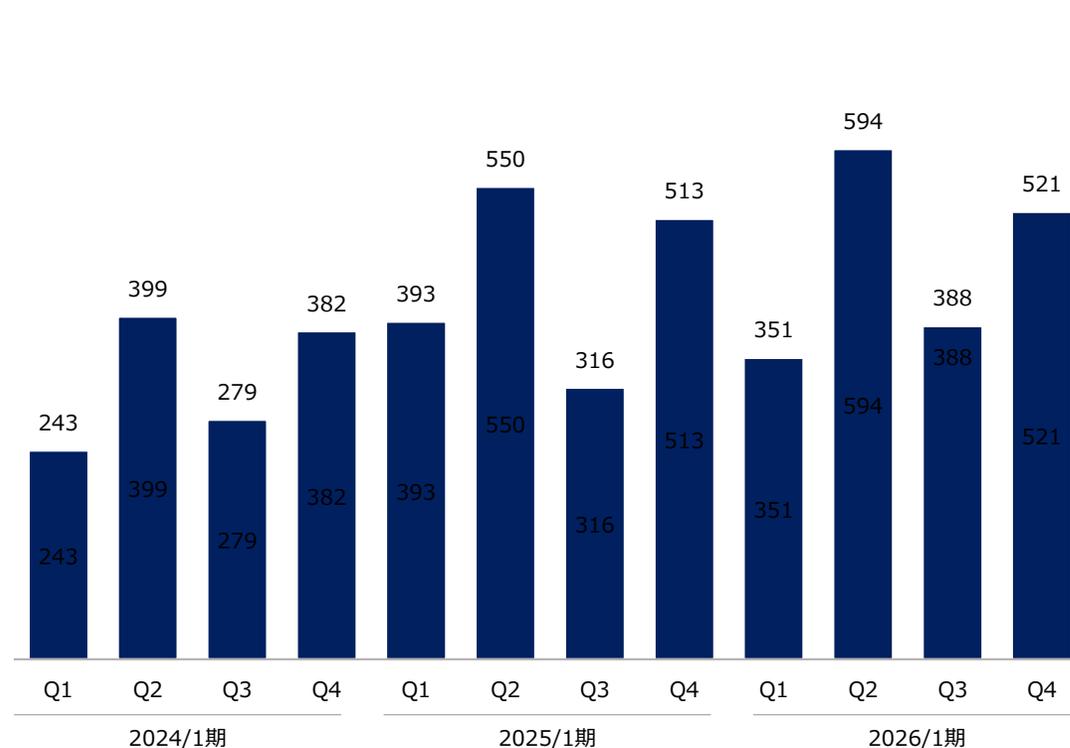
販売経路別セグメント売上

百万円



セグメント利益

百万円

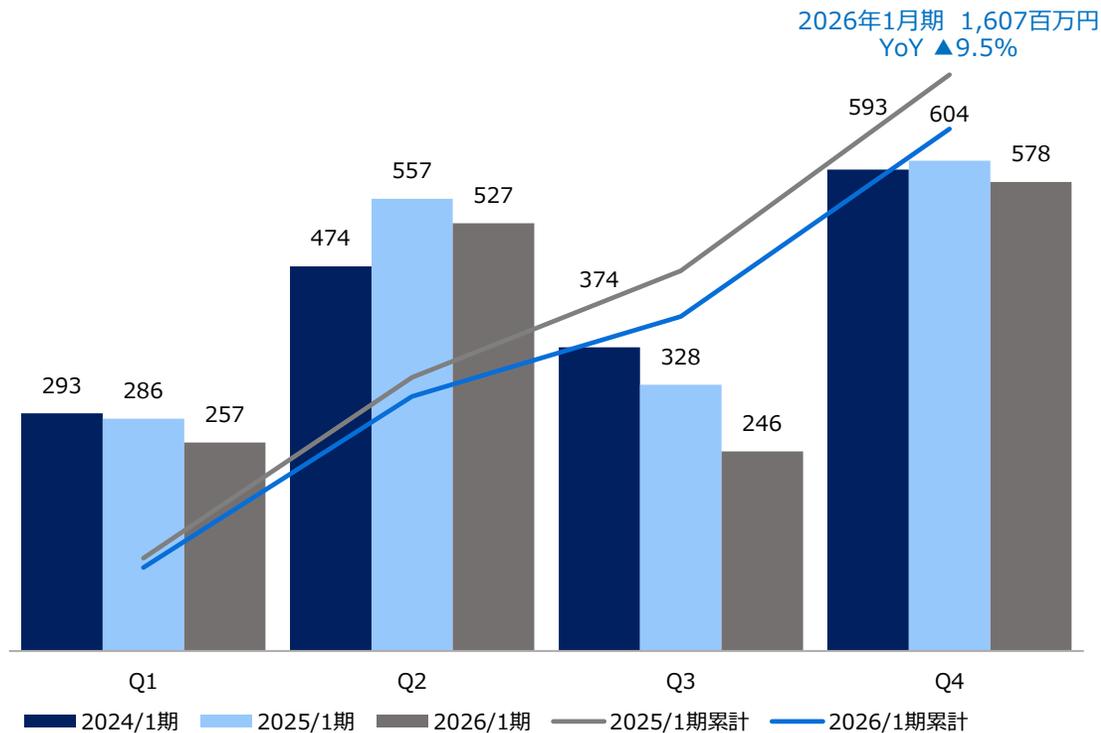


フォーナインズ

- 国内卸売上前年同期比減収となった
- フォーナインズ国内卸事業は、「国内眼鏡小売店向け売上」と「特定ブランドや特定小売店とのタイアップ（OEM）」に大別される。
2026年1月期の減収は、小売店向け卸売上は▲124百万円、OEM売上は▲45百万円
- 海外卸売上9.1%増収となり、引き続き好調に推移

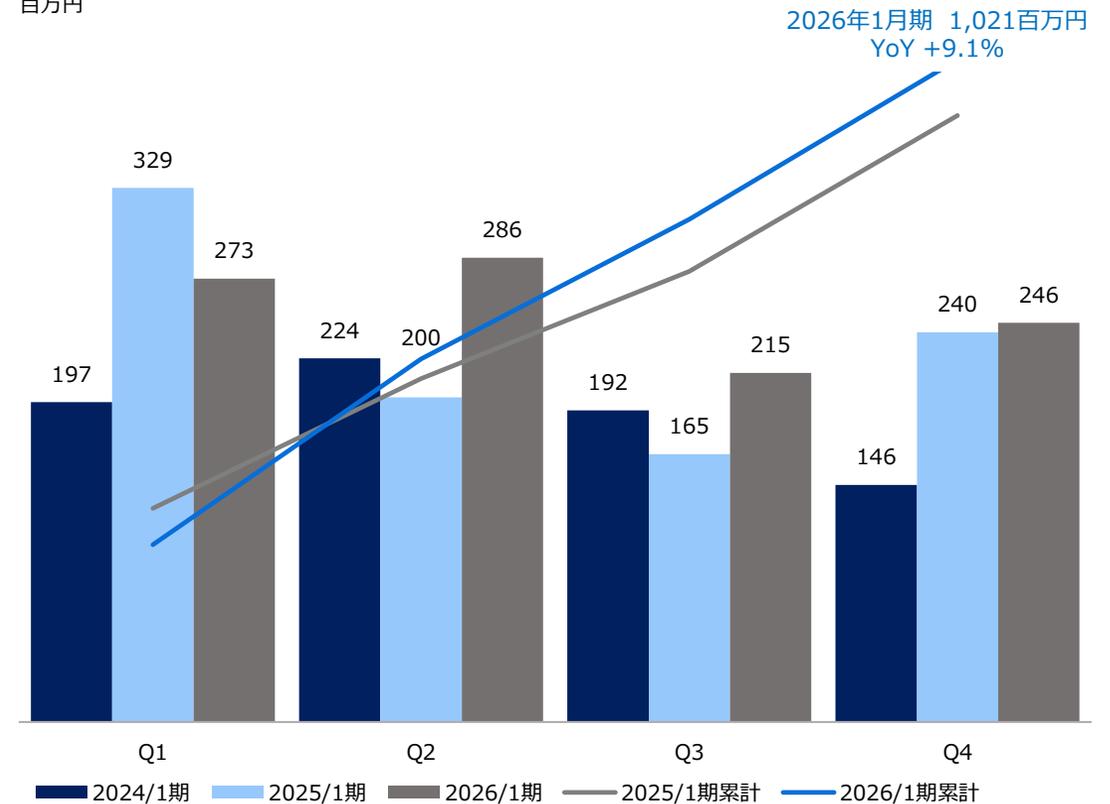
四半期別国内卸売上

百万円



四半期別海外卸売上

百万円



03

2026年1月期業績及び2027年1月期業績予想

- 2027年1月期業績予想

2027年1月期主要施策

- 中期計画達成に向けて、引き続き着実に施策を実施

鯖江 〇〇 手造
金子眼鏡
ESTABLISHED 1958

9999

- 1 両ブランド合計で5店舗以上の国内新規出店を予定
- 2 中国及び周辺諸国において、2店舗以上の新規出店を予定
- 3 海外顧客向け売上は35%を想定（うちインバウンド向け売上は40億円）
- 4 両ブランドにおいて価格改定を実施
- 5 引き続き、厳格なコストコントロールを実施

業績予想

- 2027年1月期通期業績予想は、売上収益は前年比10.5%増の206億円、営業利益は14.2%増の68億円、当期利益は16.3%増の44億円とする

| | 2026/1期実績 | 2027/1期業績予想 | 前年同期比 |
|-------------------|-----------|-------------|--------|
| 売上収益 | 18,640 | 20,600 | 110.5% |
| 売上原価 | 3,968 | 4,100 | 103.3% |
| 売上総利益 | 14,672 | 16,500 | 112.5% |
| 売上総利益率 | 78.7% | 80.1% | - |
| 販売費及び一般管理費 | 8,725 | 9,700 | 111.2% |
| その他の収益/その他の費用 (▲) | 10 | 0 | 0.0% |
| 営業利益 | 5,957 | 6,800 | 114.2% |
| 営業利益率 | 32.0% | 33.0% | - |
| 金融収益/金融費用 (▲) | ▲ 333 | ▲ 300 | 90.0% |
| 税引前利益 | 5,623 | 6,500 | 115.6% |
| 法人所得税費用 | 1,840 | 2,100 | 114.1% |
| 当期利益 | 3,783 | 4,400 | 116.3% |

株主還元

- 潤沢に産み出されるキャッシュを原資として、株主還元と借入金返済、成長投資を適切なバランスで実施する

潤沢に創出される営業キャッシュ・フロー

- ◆ 積極的な株主還元
- ◆ 借入金返済
- ◆ 国内・海外における店舗投資の実施
- ◆ 製造力強化への投資

配当政策

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、年間配当性向**40%**を目安として配当を実施する方針です。

2026年1月期期末配当は当初予想の通りとし、1株当たり**42**円とさせていただきます。

また、2027年1月期年間配当は1株当たり**86**円を計画しております。

04

資本コストと株価を意識した経営

現状評価

- ◆ 当社のPBRは直近2年間において平均約4倍の水準となっている
- ◆ ROEは20%を超えており、想定する資本コストである約13%を上回っている
- ◆ 一方でPERは直近2年間平均は約18倍であるものの、2025年1月からの1年間平均は約13倍となっており、当社の目指すグローバルラグジュアリーブランドの水準との乖離が大きい

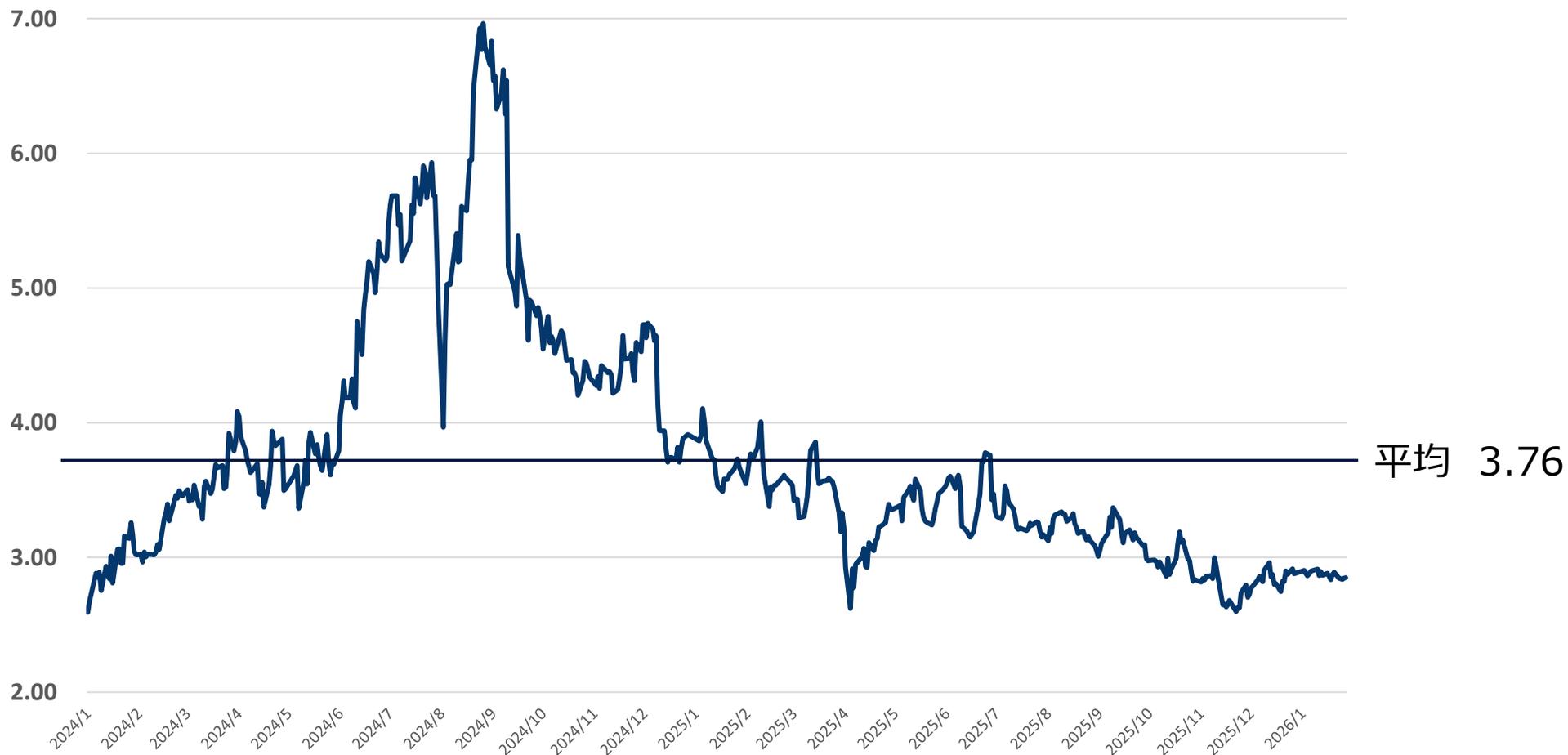
目標/方針/施策

- ◆ PERについては、成長性の訴求、資本コストの低減により、グローバルラグジュアリーブランドと同等レベルの水準を目指す。また、2025年3月に公表した中期計画に明示している通り、ROEは25%以上を目指す
- ◆ 中期計画の達成を目指すとともに、目標達成に向けた成長投資を確実に実施する。また、成長投資を含むキャピタルアロケーションを最適化することにより、株主資本の水準についても最適化を図る
- ◆ 引続き、積極的に機関投資家との対話を行うことで、当社戦略のブラッシュアップ、株主資本コストの低減を図る

現状評価～PBR

- 2024年1月から直近までの平均PBRは約4倍であり、一定の評価をいただいている水準にあるが、直近では3倍を切る水準となっており、より一層の改善が必要である。

PBR推移(1)

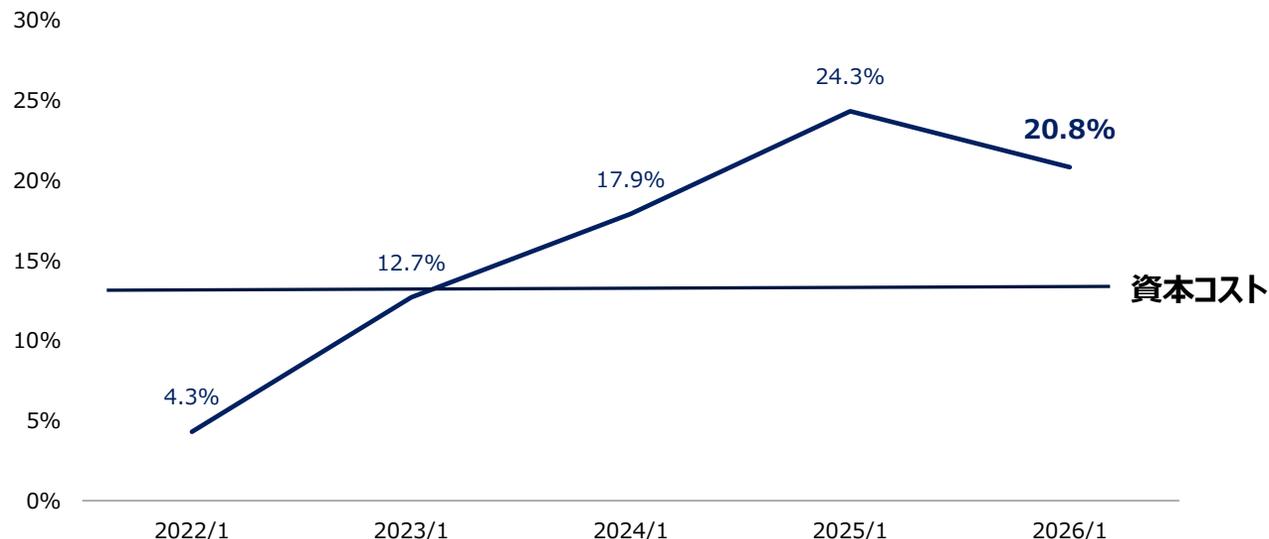


注:
1. 2024年1月4日から2026年1月30日までの実績値

現状評価～ROE

- 足下のROEは20%を超えており、想定する資本コスト（13.26%）を超える水準にある。

ROE推移(1)(2)



注:

1. IFRSベース
2. 当期利益 / (資本金 + 資本剰余金 + 利益剰余金) (期末時点)

百万円

| | 2024/1 | 2025/1 | 2026/1 |
|------|--------|--------|--------|
| 当期利益 | 2,362 | 3,994 | 3,783 |
| 資本合計 | 13,270 | 16,421 | 18,187 |
| ROE | 17.9% | 24.3% | 20.8% |

当社の株主資本コストの前提

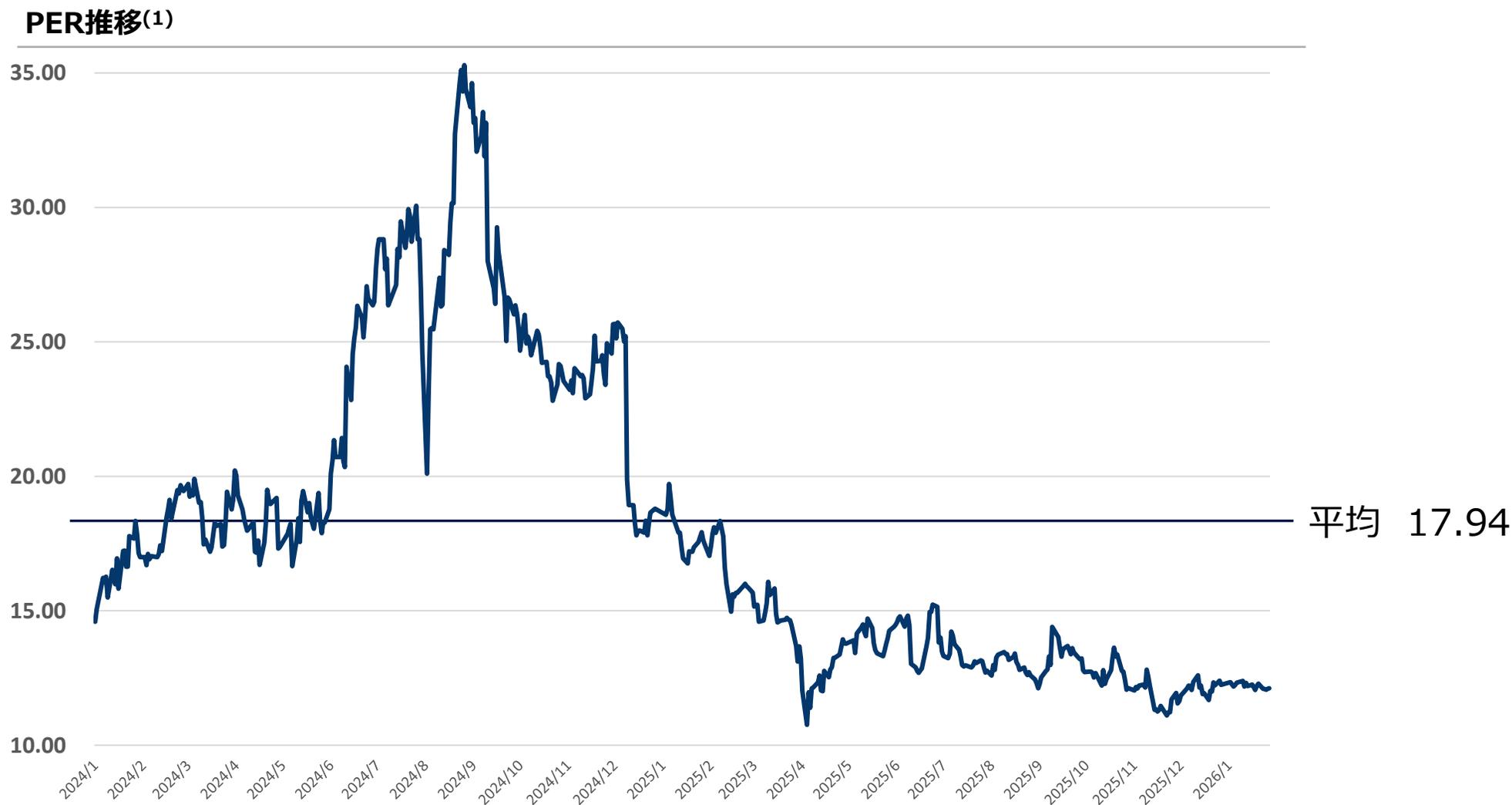
$$\text{株主資本コスト } 13.26\% = \text{リスクフリーレート}^{(1)} 2.066\% + \beta^{(2)} 1.52 \times \text{リスクプレミアム}^{(3)} 6.50\% + \text{サイズプレミアム}^{(4)} 3.70\%$$

注:

1. 日本国債10年物レート (2025.12.30)
2. 類似企業のUnlevered β を類似企業の資本構成をもとにLevered化
3. 1969.1から2024.12における日本のEquity Risk Premium (Ibbotson Associates)
4. 当社の規模等を勘案して設定 (Ibbotson Associates)

現状評価～PER

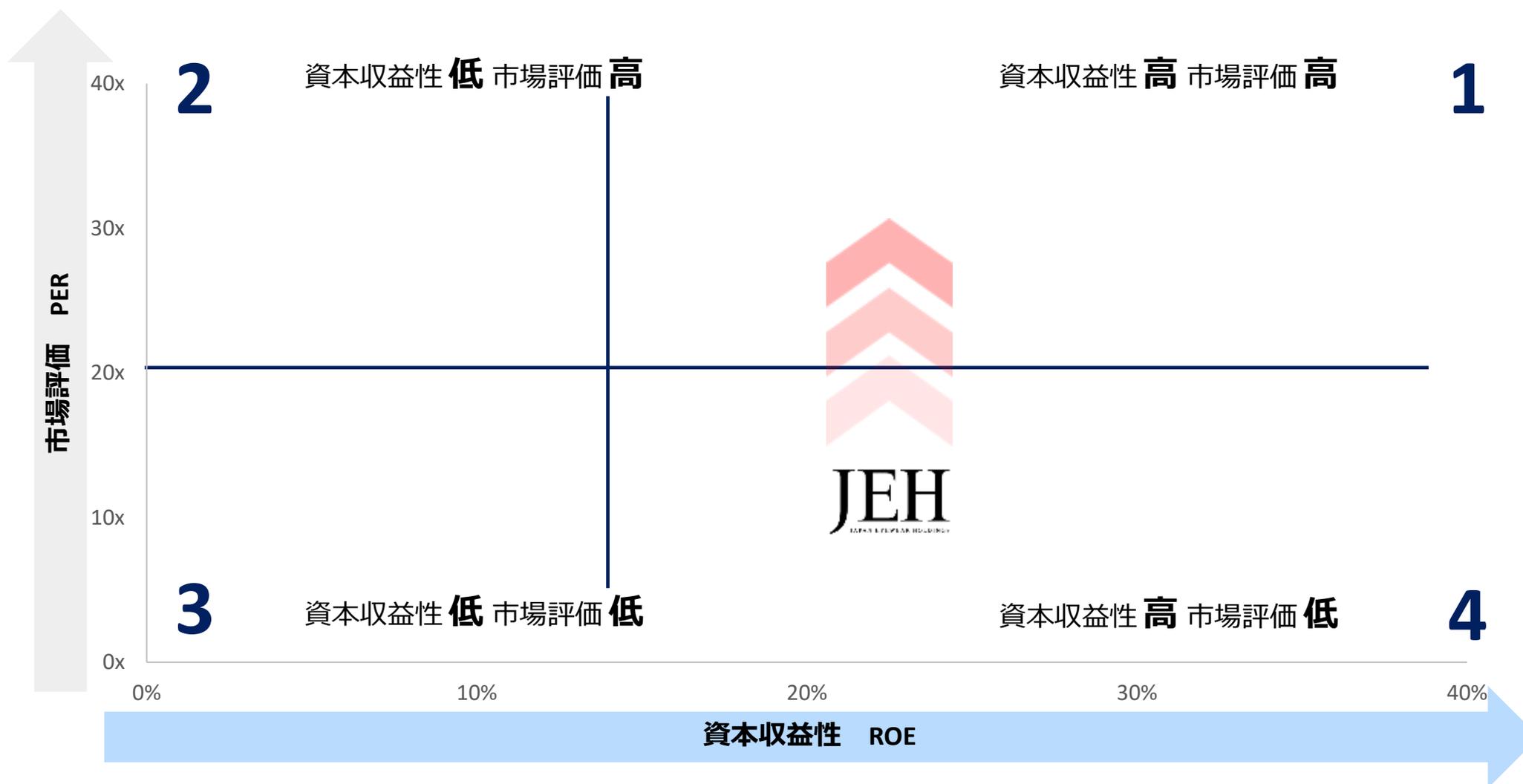
- 2024年1月から直近までの平均PERは約18倍だが、2025年1月以降は15倍に届かない水準が続いており、さらなる上昇を目指す



注:
1. 2024年1月4日から2026年1月30日までの実績値

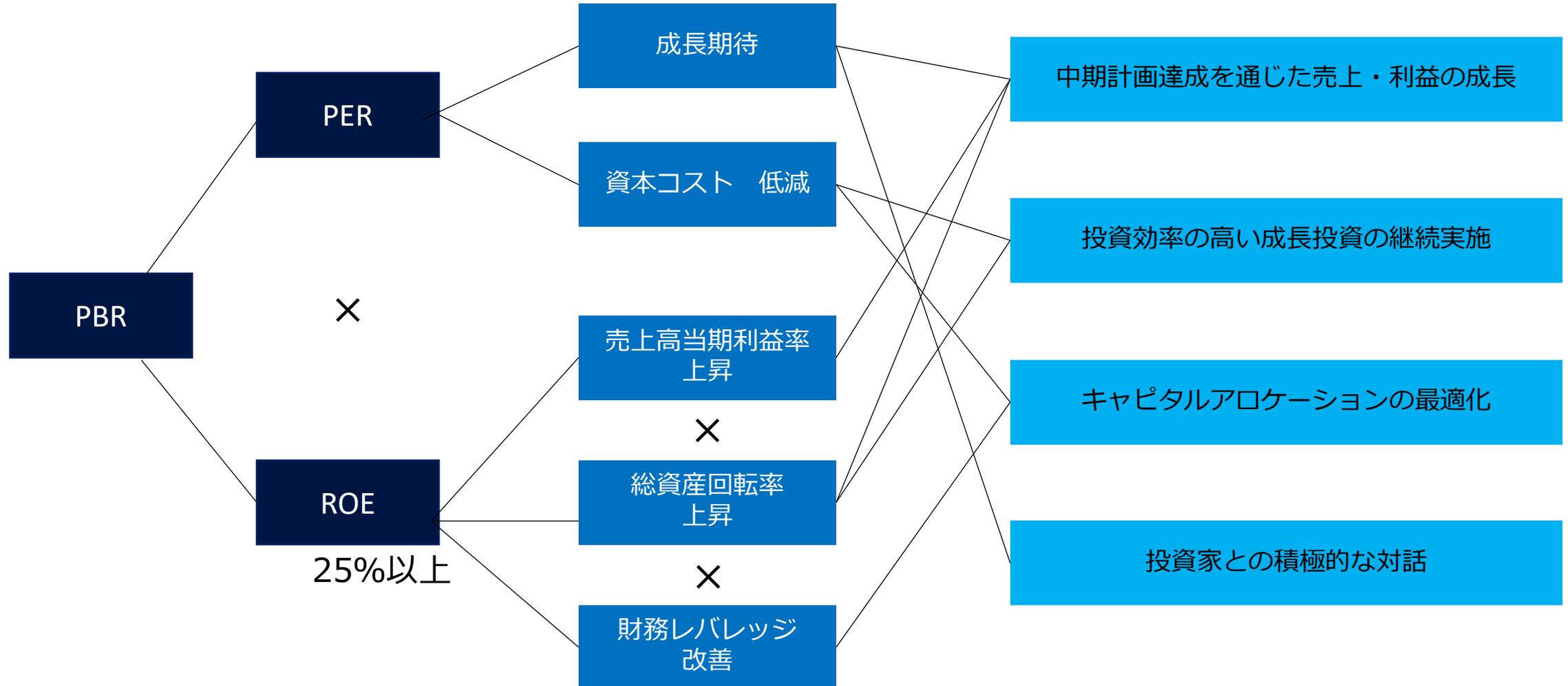
資本収益性 vs. 市場評価

- 当社のPERは高い水準のROEと比して、必ずしも高い水準にはない
- 資本コストを超える資本収益性を達成しているものの、市場から成長性が乏しいと見られている可能性がある



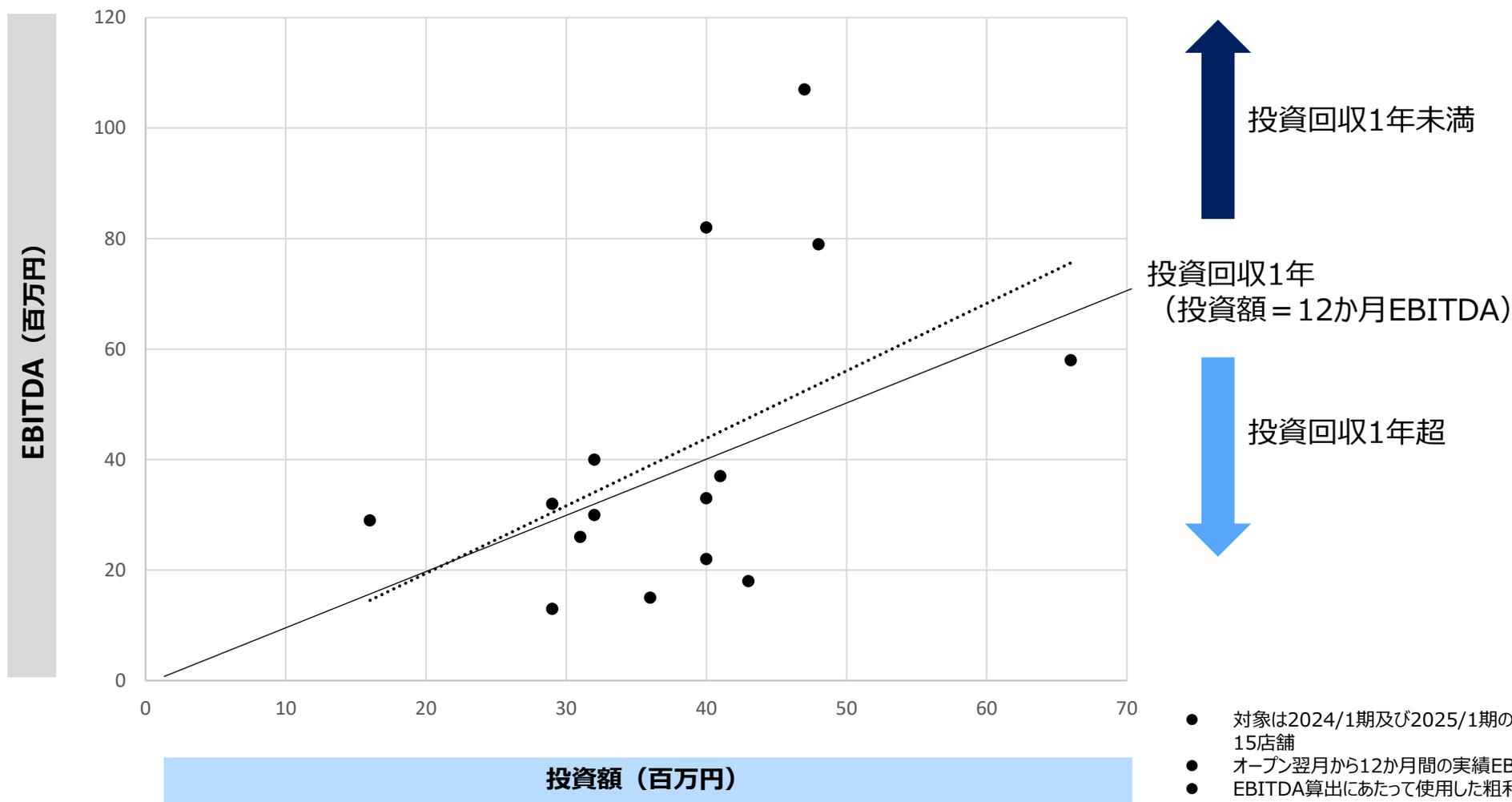
目標と方針

- PERはグローバルラグジュアリーブランドの同等レベルの水準を目指し、ROEは中期計画最終年度である2030年1月期に向けて25%以上を目指す



投資効率

- 主たる成長投資となる新規出店について、現状における1店舗当たりの投資額は約40～50百万円ほどであり、必ずしも多額の投資を必要としない
- 新規出店における投資回収は平均1年程度であり、極めて効率性の高い投資が実現できている



- 対象は2024/1期及び2025/1期の金子眼鏡(株)の新規店舗計15店舗
- オープン翌月から12か月間の実績EBITDAを使用
- EBITDA算出にあたって使用した粗利率は、卸売上を含む金子眼鏡(株)全体の月別粗利率

キャピタルアロケーション

- 潤沢に産み出される営業キャッシュフローを確実な成長のための投資に向けつつ、株主還元、次期中期計画期間における海外出店加速に向けた内部留保、M&A実施などに対する予備費として使用し、株主資本の最適化を図る

| 中期5か年計画 2026/1期～2030/1期 | | | |
|-------------------------|-------|--------------------------------|---|
| 営業CF | 成長投資 | 新規出店： 計25億円以上 工場投資： 計10億円以上 | 新規出店： 前提は1店舗あたり50百万円×50店舗。加えて、フラッグシップ店舗の出店の検討と実施 工場投資： 1年あたり2億円×5年 |
| | 借入金返済 | 計47.5億円 | 1年あたり9.5億円×5年 |
| | 株主還元 | 計100億円以上 | 配当性向40%を目安とし、資金ニーズなどを考慮した配当の実施 自社株買いの検討と実施 |
| 借入金等 | その他 | NA | 非連続成長のための積極的なM&A機会探索 海外出店加速に向けた内部留保の充実 など |

投資家との積極的な対話

- 当社に対するご理解促進を目的として、積極的なIRを実施しており、今後も継続する

主なIR活動（2025年1月期～2026年1月期）

決算説明会開催回数

8回

機関投資家、セルサイドアナリスト向けに四半期ごとに開催

機関投資家等との面談件数

444件

サイレント期間を除き、オンラインや対面式で実施。上記のうち29回についてCEO出席。そのほかについては、CFO及びIR責任者が参加

海外IRにおける面談件数

10件

2025年4月、野村証券様主催のカンファレンスに参加し、香港・シンガポールの機関投資家と面談

店舗見学会開催回数

5回

都内店舗において、機関投資家、セルサイドアナリスト向けに不定期で開催

工場見学会開催回数

10回

福井県鯖江市の自社工場において機関投資家、セルサイドアナリスト向けに不定期で開催

個人投資家向け説明会実施回数

6回

マネックス証券様のオンライン説明会を中心に実施

Appendix

| | | |
|--------|---|-------|
| 社名 | Japan Eyewear Holdings株式会社 | |
| 所在地 | (福井本社) 福井県鯖江市上河端8-13 (東京本社) 東京都世田谷区成城2-11-12 | |
| 創業 | 1958年 (金子眼鏡創業) | |
| 設立 | 2019年 (旧Lunettes HD株式会社設立) | |
| 資本金 | 949百万円 (2026年1月31日現在) | |
| 代表者 | 代表取締役 金子 真也 | |
| 株主構成 | 金子インベスト株式会社 | 37.7% |
| | 日本企業成長投資 1号投資事業有限責任組合 | 4.7% |
| | Camellia Fund I Cayman, LP | 2.5% |
| | Cerasus Fund I Cayman, LP | 2.0% |
| | Wisteria Fund I Cayman, LP | 1.3% |
| 連結子会社数 | 国内5社、海外6社 | |

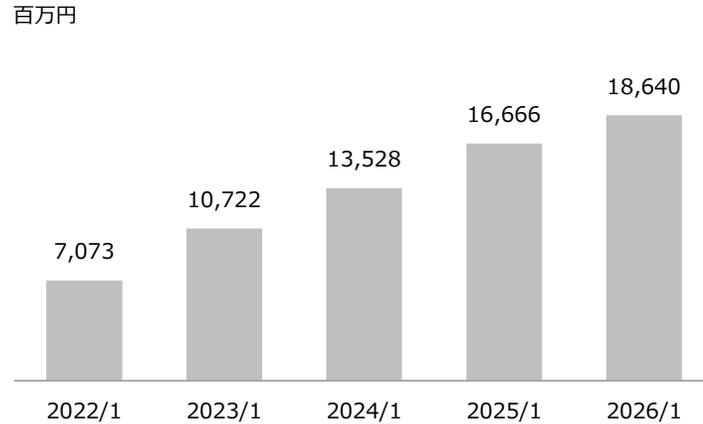
日本発のラグジュアリー・アイウェア・カンパニー

- 世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフツマンシップにより、自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造・販売⁽¹⁾

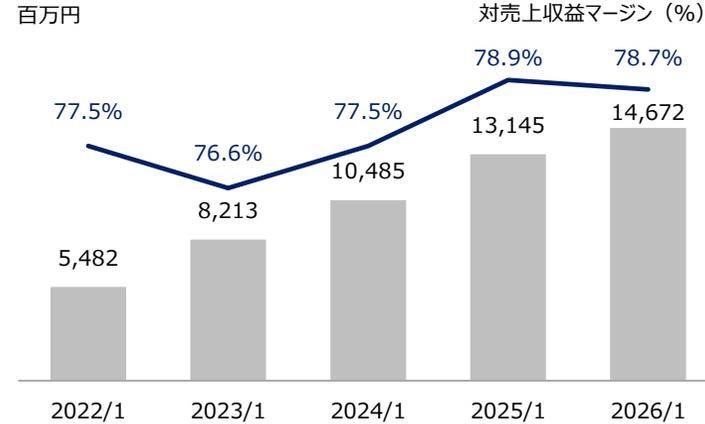
| | |
|--|--|
| <p>鯖江 〇〇 手造</p> <h2>金子眼鏡</h2> <p>ESTABLISHED 1958</p> | <h1>9999</h1> <p>フォーナインズ</p> |
| <p>眼鏡生産地「福井・鯖江」を代表する 国内アイウェア業界のトレンドリーダー</p> | <p>機能を磨き上げることで、最高純度の品質 美しいフォルムを表現する高級眼鏡ブランド</p> |
| <p>創業 1958年</p> <p>売上収益 124億円 (2026年1月期、前年比+15.5%) ～約90%が店舗売上</p> <p>店舗形態 直営店：国内84店舗、フランス2店舗、中国4店舗、 香港2店舗、台湾・シンガポール各1店舗 (2026年1月末時点)</p> <p>一式単価⁽²⁾ 約82,000円</p> <p>国内法人 金子眼鏡株式会社、株式会社栄光眼鏡 株式会社ハズ</p> <p>海外法人 KANEKO FRANCE SARL、金子眼鏡（上海）有限公司 Japan Eyewear Holdings Hong Kong Co., Ltd. Japan Eyewear Holdings Taiwan Co., Ltd.</p> | <p>創業 1995年</p> <p>売上収益 61億円 (2026年1月期、前年比+5.1%) ～店舗売上と卸売が約50%ずつ</p> <p>店舗形態 直営店：国内18店舗、シンガポール1店舗 (2026年1月末時点)</p> <p>一式単価⁽²⁾ 約87,000円</p> <p>国内法人 株式会社フォーナインズ 株式会社タイホウ</p> <p>海外法人 FOUR NINES SINGAPORE PTE. LTD.</p> |
| <p>Japan Eyewear Holdings</p> | |
| <p>注： 1. 取扱店での販売もあり 2. 一式単価はフレーム及びレンズの購入単価合計。2026/1期実績</p> | |
| <p>共通 国内法人：Japan Eyewear Holdings株式会社 共通 海外法人：Japan Eyewear Holdings International Co., Ltd.</p> | |

Key Financials

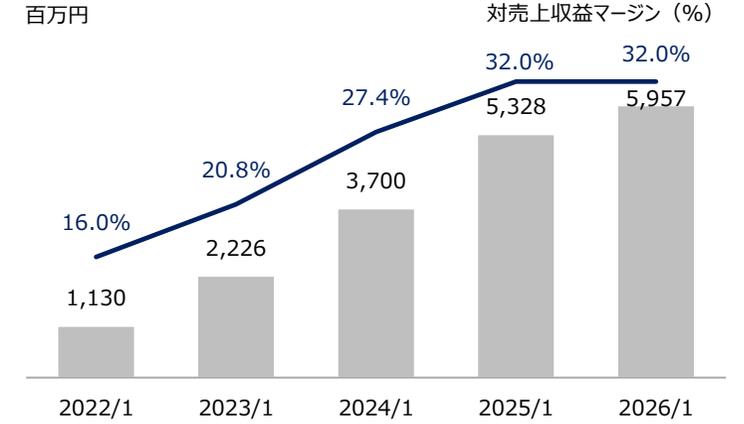
売上収益



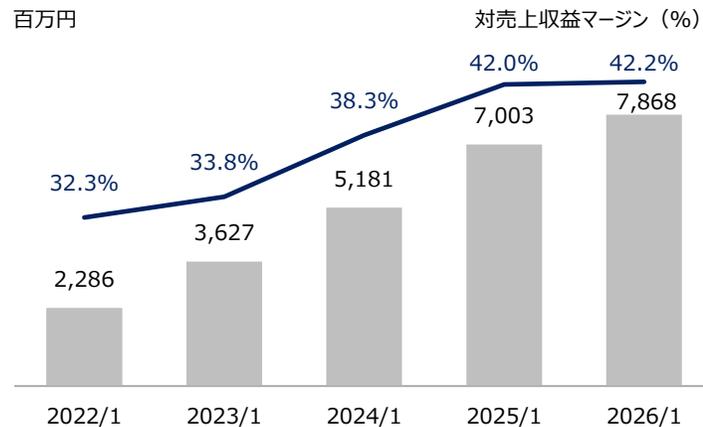
粗利益



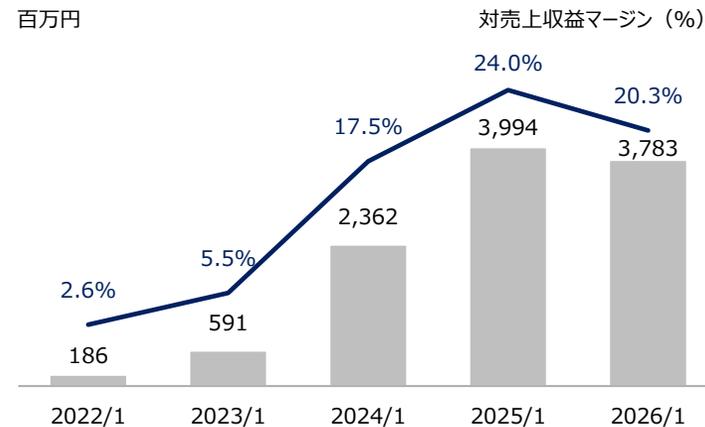
営業利益



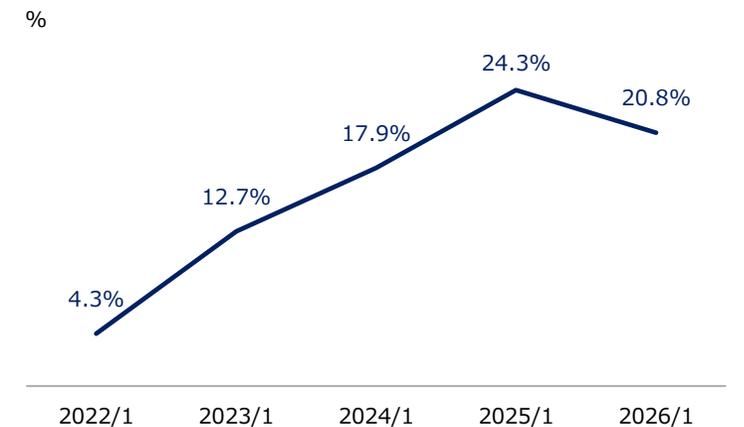
EBITDA (2)



当期利益



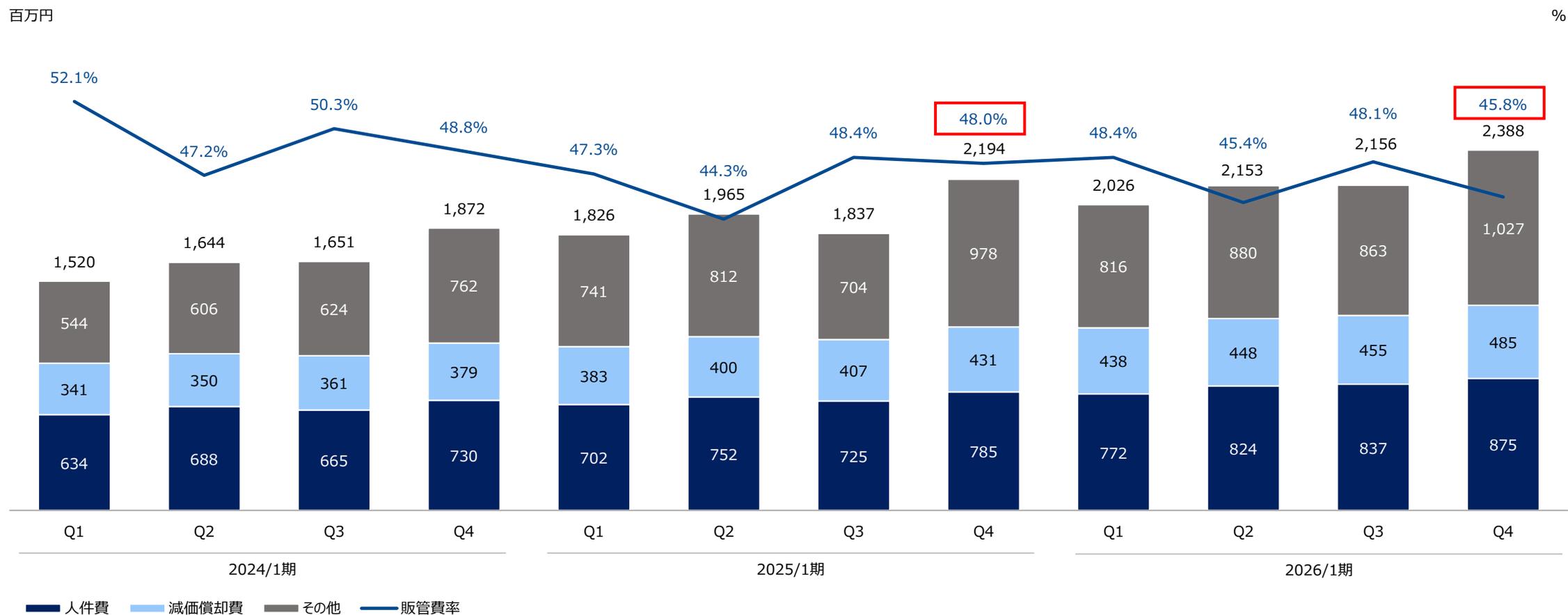
ROE (3)



注:
1. IFRSベース
2. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費
3. 当期利益/(資本金+資本剰余金+利益剰余金) (期末時点)

連結販管費推移

- 増収効果などにより、第4四半期3か月間の販管費率は前年同期比2.2ポイント低下



連結PL（第4四半期）

- 売上収益は前期比14.2%増の52億円、営業利益は前期比16.6%増の16億円
- 売上総利益率は77.3%、営業利益率は31.4%と高水準を維持

百万円

| | 2025/1期Q4 (11月~1月) | 2026/1期Q4 (11~1月) | 増減 | 前年同期比 |
|-------------------|--------------------|-------------------|---------|---------|
| 売上収益 | 4,570 | 5,217 | 647 | 114.2% |
| 売上原価 | 970 | 1,185 | 215 | 122.3% |
| 売上総利益 | 3,600 | 4,031 | 431 | 112.0% |
| 売上総利益率 | 78.8% | 77.3% | ▲ 1.5Pt | - |
| 販売費及び一般管理費 | 2,194 | 2,388 | 193 | 108.8% |
| その他の収益/その他の費用 (▲) | ▲ 1 | ▲ 5 | ▲ 4 | 542.8% |
| 営業利益 | 1,404 | 1,637 | 233 | 116.6% |
| 営業利益率 | 30.7% | 31.4% | 0.7Pt | - |
| EBITDA | 1,849 | 2,144 | 294 | 115.9% |
| EBITDA率 | 40.5% | 41.1% | 0.6Pt | - |
| 調整後EBITDA | 1,853 | 2,144 | 290 | 115.7% |
| 金融収益/金融費用 (▲) | ▲ 72 | ▲ 88 | ▲ 15 | 121.9% |
| 税引前四半期利益 | 1,332 | 1,549 | 217 | 116.3% |
| 法人所得税費用 | ▲ 238 | 418 | 656 | -175.3% |
| 四半期利益 | 1,570 | 1,131 | ▲ 439 | 72.0% |

注:

1. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却

2. 調整後EBITDA=EBITDA(営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費)+上場関連費用(注3)

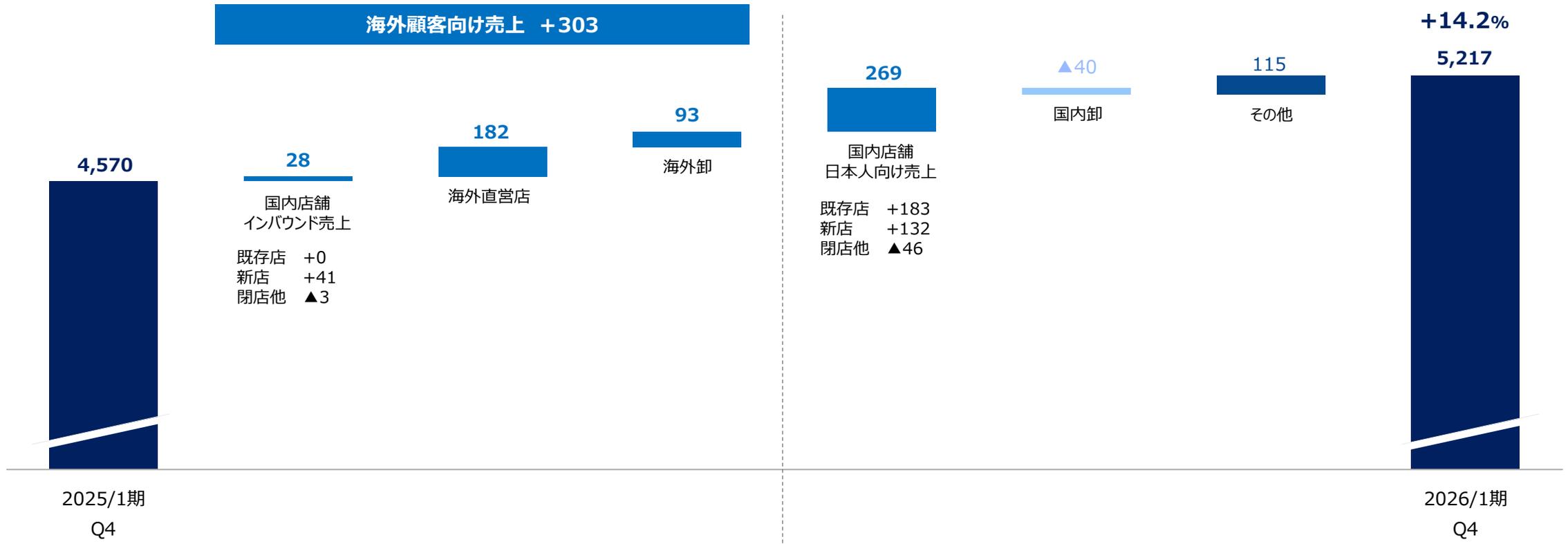
3. 法律事務所への支払報酬や外部コンサルタント費用等の上場に関連する一時的な費用であります。

売上収益増減（第4四半期）

- 連結売上収益は前年同期比+14.2%の52億円を達成
- 引き続き堅調なインバウンド売上により海外顧客向け売上は前年比3.0億円増。新規出店を含む国内店舗における日本人向け売上は2.7億円増

第4四半期

百万円



連結販管費（第4四半期）

- 販管費は3か月間で約2億円増加。主な増加要因は店舗数増加、店舗売上増加に伴う費用増

百万円

| | 2025/1期Q4 (11月～1月) | 2026/1期Q4 (11月～1月) | 増減/pt差 | 前年同期比 | 備考 |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|---------|--------|---|
| 販売費および一般管理費合計 | 2,194 | 2,388 | 193 | 108.8% | |
| 売上比 | 48.0% | 45.8% | ▲ 2.2Pt | | |
| 人件費 | 785 | 875 | 90 | 111.5% | 主として店舗数増による人件費増 |
| 売上比 | 17.2% | 16.8% | ▲ 0.4Pt | | |
| 減価償却費 ⁽¹⁾ | 431 | 485 | 54 | 112.5% | 出店に伴う使用権資産償却増 新工場設立による有形固定資産等償却増（ほか） |
| 売上比 | 9.4% | 9.3% | ▲ 0.1Pt | | |
| 賃借料 | 254 | 299 | 44 | 117.7% | 店舗売上増加に伴う歩合家賃増 |
| 売上比 | 5.6% | 5.7% | 0.2Pt | | |
| 支払手数料 | 118 | 128 | 10 | 108.6% | |
| 売上比 | 2.6% | 2.5% | ▲ 0.1Pt | | |
| 販売促進費 | 148 | 185 | 37 | 125.0% | |
| 売上比 | 3.3% | 3.6% | 0.3Pt | | |
| 販売代行手数料 | 80 | 111 | 30 | 137.1% | 店舗運営委託先向け手数料 店舗売上増加に伴い増加 |
| 売上比 | 1.8% | 2.1% | 0.4Pt | | |
| 広告宣伝費 | 17 | 12 | ▲ 5 | 70.5% | |
| 売上比 | 0.4% | 0.2% | ▲ 0.1Pt | | |
| その他 | 358 | 290 | ▲ 67 | 81.1% | |
| 売上比 | 7.8% | 5.6% | ▲ 2.3Pt | | |

注:

1. 減価償却費には店舗賃借にかかる使用権資産の償却が含まれています。（2025/1期 351百万円、2026/1期 383百万円）

セグメントPL (第4四半期)

- 金子眼鏡セグメントは+20.0%増収・+16.1%増益
- 一方のフォーナインズセグメントは国内卸売上のマイナスもあり、+4.1%増収・+1.7%増益

百万円

| | | | 2025/1期Q4(11月~1月) | 2026/1期Q4(11月~1月) | 増減 | 前年同期比 |
|---|---------|---------|-------------------|-------------------|--------|--------|
|  <p>金子眼鏡 ESTABLISHED 1958</p> | 売上高 | 店舗売上高 | 2,690 | 3,068 | 377 | 114.0% |
| | | 国内卸売上高 | 52 | 38 | ▲ 14 | 72.6% |
| | | 海外卸売上高 | 144 | 231 | 87 | 160.5% |
| | | その他売上高 | 2 | 130 | 128 | — |
| | | 計 | 2,890 | 3,468 | 578 | 120.0% |
| | | セグメント利益 | 1,093 | 1,269 | 176 | 116.1% |
|  | 売上高 | 店舗売上高 | 812 | 914 | 102 | 112.6% |
| | | 国内卸売上高 | 604 | 578 | ▲ 26 | 95.7% |
| | | 海外卸売上高 | 240 | 246 | 5 | 102.3% |
| | | その他売上高 | 22 | 9 | ▲ 12 | 43.2% |
| | | 計 | 1,679 | 1,748 | 68 | 104.1% |
| | セグメント利益 | 513 | 521 | 8 | 101.7% | |
| 共通・調整 | セグメント利益 | ▲ 202 | ▲ 152 | 49 | 75.7% | |
|  <p>JEH JAPAN EYEWEAR HOLDINGS</p> | 売上高 | 店舗売上高 | 3,503 | 3,982 | 479 | 113.7% |
| | | 国内卸売上高 | 656 | 616 | ▲ 40 | 93.8% |
| | | 海外卸売上高 | 385 | 478 | 93 | 124.2% |
| | | その他売上高 | 25 | 140 | 115 | 559.0% |
| | | 計 | 4,570 | 5,217 | 647 | 114.2% |
| | セグメント利益 | 1,404 | 1,638 | 233 | 116.6% | |

連結PL四半期推移

連結PLサマリー（百万円）

2024/1期

| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Total |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 売上 | 2,918 | 3,485 | 3,286 | 3,839 | 13,528 |
| 売上総利益 | 2,274 | 2,682 | 2,540 | 2,987 | 10,485 |
| 営業利益 | 759 | 1,035 | 885 | 1,019 | 3,700 |
| 税引前利益 | 654 | 927 | 783 | 929 | 3,295 |
| 当期利益 | 294 | 737 | 514 | 816 | 2,362 |

2025/1期

| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Total |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 売上 | 3,861 | 4,439 | 3,795 | 4,570 | 16,666 |
| 売上総利益 | 3,017 | 3,516 | 3,011 | 3,600 | 13,145 |
| 営業利益 | 1,195 | 1,559 | 1,169 | 1,404 | 5,328 |
| 税引前利益 | 1,102 | 1,380 | 1,096 | 1,332 | 4,912 |
| 当期利益 | 736 | 940 | 746 | 1,570 | 3,994 |

2026/1期

| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Total |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 売上 | 4,191 | 4,745 | 4,485 | 5,217 | 18,640 |
| 売上総利益 | 3,334 | 3,728 | 3,577 | 4,031 | 14,672 |
| 営業利益 | 1,307 | 1,578 | 1,432 | 1,637 | 5,957 |
| 税引前利益 | 1,228 | 1,499 | 1,346 | 1,549 | 5,623 |
| 当期利益 | 782 | 960 | 908 | 1,131 | 3,783 |

連結PLサマリー年間構成比

| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Total |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 売上 | 21.6% | 25.8% | 24.3% | 28.4% | 100.0% |
| 売上総利益 | 21.7% | 25.6% | 24.2% | 28.5% | 100.0% |
| 営業利益 | 20.5% | 28.0% | 23.9% | 27.6% | 100.0% |
| 税引前利益 | 19.9% | 28.2% | 23.8% | 28.2% | 100.0% |
| 当期利益 | 12.5% | 31.2% | 21.8% | 34.6% | 100.0% |

| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Total |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 売上 | 23.2% | 26.6% | 22.8% | 27.4% | 100.0% |
| 売上総利益 | 23.0% | 26.8% | 22.9% | 27.4% | 100.0% |
| 営業利益 | 22.4% | 29.3% | 21.9% | 26.4% | 100.0% |
| 税引前利益 | 22.4% | 28.1% | 22.3% | 27.1% | 100.0% |
| 当期利益 | 18.4% | 23.5% | 18.7% | 39.3% | 100.0% |

| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Total |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 売上 | 22.5% | 25.5% | 24.1% | 28.0% | 100.0% |
| 売上総利益 | 22.7% | 25.4% | 24.4% | 27.5% | 100.0% |
| 営業利益 | 21.9% | 26.5% | 24.0% | 27.5% | 100.0% |
| 税引前利益 | 21.8% | 26.7% | 23.9% | 27.5% | 100.0% |
| 当期利益 | 20.7% | 25.4% | 24.0% | 29.9% | 100.0% |

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。